

# *Blowers*

**24 1/2**

**帝国海軍**

**横浜航空技術廠**

# MENU

- お祭り騒ぎ . . . . . 3
- FOX AWAY . . . . . 5
- 公開私信 . . . . . 8
- 国勢調査結果報告 . . . . . 10
- 真鶴学園風雲録 . . . . . 13
- 仮称「新真鶴」予告 . . . . . 33
- Peace Presser Maya . . . . . 37

'I'd BACK'と言うよりも、「恥ずかしながら只今帰って参りました」の方です。大変長らくお待たせいたしました。まことに不本意ながら、「Blowers 24」、とりあえず自分で始末がつけられる範囲内での発行です。何が起こったかは後々明らかにするとして、今回はGUIではなくCUIな本としてとりあえずお納めください。後日、GUIになるための「差分」をお送りします。

日本も昭和20年にすべてを失った状態から平成のこの世まで持ち直しました。私もこれに範を取り、再び空技廠の復興に挑んでみたいと思っています。皆様には多大なご迷惑をおかけしたことを、深くお詫び申し上げます。

皇紀2654年9月15日  
菊地研一郎

# おことわり

～使用上の注意～

1. 本書は先に発行された「Blowers 24 1/2」と対を成すものであり、どちらか一方だけでは用を為しません。
2. 本書のごく一部は担当者の不注意のため、本文を伴っておりません。必要に応じてコピーし、「1/2」の適正な位置に挟み込んでお使いください。

## MENU

- 「6色のダガー」 . . . . . 3
- FOX AWAY . . . . . 6
- 話の話 . . . . . 7
- 真鶴学園風雲録 . . . . . 9
- 残照 . . . . . 12
- 作品解説 . . . . . 13
- 回想の真鶴学園風雲録 . . . . . 14



# 六色のダガー



アルストリア大陸の北西、対ドラゴール軍の防衛拠点として築かれた街カスールの門の前に2人の人物が立っていた。1人は頭に白い布を巻き、手には魔法使いの杖を持っている。その杖には古代エルフ語で「キースから君に贈る」と書いてあるのだが本人は気付いていない。もう1人は筋肉の塊、といった感じの戦士で、スケイルメイルを窮屈そうに着込み、バスタードソードを背負っている。

「ルーサー、本当に金になる話はあるんだろうな」

戦士が隣の魔法使いに尋ねる。

「なければ困る。お前に貸した300Gが返ってこない」

ルーサーは一週間程前に、とある酒場で無銭飲食で捕まった戦士サムソンを自分の護衛をする約束を取り付けて助けてやった。戦士であった父親に対抗するためである。ルーサーは父親に復讐するための旅に出ているのだ。自分の母親を捨てたエルフのろくでなしに…

ふと視線を走らせた門の横にルーサーは張り紙を見つけた。

「おいサムソン、冒険者求むだってよ。これで借金を返して…」

「いてっ!!」

「どうしたサムソン…いてっ!!」

同時に手を頭にやる2人だが、頭には何もなかった。

フォーリンクマイヤー・ブラズマタイザーことフォウリーは自分の双子の子供を捜して旅をしていた。ガウとキュオ、前回の大战ではぐれてしまったハーフエルフの子供達のことを思う度に溜息をついてしまう。幸運の神の神官であった人間の夫はオーガーに殺されてしまったのだが彼女の記憶にはない。気付くと彼女は夫の愛用の魔力のかかっているフレイルを持って森の中に倒れていた。それ以来28年間、ずっと彼女は1人で旅をしていた。

「カスールの街はどうやら又はずれのようなね。だったら、夫の友人だったカスール公に挨拶を

済ませて、今度は…そうねえ、セルセタの街の方に行ってみようかしら…いったーい！」

突然背中に何か刺さったような痛みを感じたのだが、背中には何も刺さってはいなかった。

◆  
「金が欲しいよー！」

「そんなこと言ってもなあ」

カスールの街外れで2人のドワーフが騒いでいた。1人は幸運の神の神官衣をまとい、もう1人はレザーアーマーを着込んでおり、どこから見ても盗賊であった。彼らは村を出て一ヶ月余り、毎日働きもせずにドワーフの食欲の欲しいまま飲み食いしてついに金が尽きたのであった。当然と言えば当然である。

「…おい、アドン」

神官が相棒の肩を叩いた。

「何だよ、とるねこ」

盗賊がうざったそうに顔を上げる。

「『冒険者求む』だだよ。報酬は何と400Gだ。

2人で800Gになるじゃないか。ここへ行ってみよう」

「腹さえ一杯になればどこでもいいさ…」

アドンがそう言って身体を起こしたその時、

「あの一、私もご一緒してよろしいでしょうか？」

突然背後から声がかかり、そこにはハーフエルフの女性が立っていた。ローブをまとって全身で魔法使いと言っている。とるねこが立ち上がったって尋ねる。

「誰だあんた？」

「私、クラント・リュースといいます。魔物の生態を研究しているんですが、一人ではゴブリンかコボルト辺りしか観察できなくて…冒険に出るなら一緒に連れていってくれませんか？」

「俺は別に構わないが、とるねこはどうだ？」

「ならば一緒に行くとするか…ただし報酬は、2：2：1だぞ」

クラントはしばし考えたが笑顔で頷いた。その時3人の痛覚が何か刺さった事を告げたのだが、別にとりたてて変化もなかったので気のせいということで片付けてしまった。

◆  
「…だから私はおシャカ様の命令電波に従って戦乱の 때가近づいてくることを皆に知らせて廻っているのちゃ！」

カスール太守の配下の騎士ディーンは正直うんざりしていた。今朝主人が出した貼り紙を見て一番にやってきたのが、今、目の前にいるエルヴィンと名乗った戦の神の神官で、彼に募集に乗った理由を尋ねたことを数分後ディーンは心底後悔していた。彼は命令電波がどうたらこうたらと訳の分からぬ事を言い始め、しまいには門の前で不幸な通行人達も巻き込んで説教していた。

「確か、俺がこの募集の案内人になるんだよな…」

そう考えると気分が減入ってくるディーンであったが、自分の目的のためにはどうしても通らねばならない門だと思ふことにした。若くて優秀なすばらしい女性の神官、いや出来れば司祭を嫁にすること…を考えると顔に笑みがこぼれるディーンであった。それには神官都市として有名なパルトリーネに行くのが最善だと考えているのだが、旅に出る条件が募集の案内人であった。

「…偉大なるおシャカ様の命令電波のお導きによれば、ドラゴールではなく、カセイというところからエスパーなる者が攻めてくるということなのちゃー！」

勝手に言ってる、とディーンが考えていると頭に何かが刺さったような痛みが走った。手を頭を持って行くが、何も刺さっていない。見るとエルヴィンも頭に手を乗せている。

「お、おシャカ様からの新たなる命令電波ちゃー！」

呆れ果てているディーンの前でエルヴィンが一人騒いでいた。

◆  
…どうやら8つとも誰かしらに付いたようだな。計算違いも甚だしいが、この際は仕方ない奴等に賭けてみよう。それになかなかどうして個性派揃いではないか。最近面白い娯楽もなか



ったから楽しませてもらう。おっと、大神様には内緒だぞ。

◆  
「ルーサー、あれは何だ？」

門に貼ってあった貼り紙を見て二人が来た先には騎士と不幸な通行人を相手に演説を続けるエルヴィンの姿があった。確かになんだか分からない、というサムソンの気持ちは分からんでもない。

「どうやら御同業のようだな」

澄まして答えるルーサー。お前にはあれがまともな人間でしかも自分と同業に見えるのか？こらこらサムソン君、いくら何でもそんな露骨にいやそうな顔をするんじゃないよ。

「あの一、もしもしその方」

ルーサーの声がかかり、振り返ると、とるねことクラントの姿あった。

# 祝・486HX2

## 空きメモリ600kB突破！

MS-DOSを運用する上で「空きメモリ」の確保（640kB中）はかなり重要な意味を持ちますが、この度空技廠のメインマシン、「EPSON PC-486HX2」の空きメモリが600kBを突破（601kB）しました。WXIIとATOK8を同時に組み込んだ上での数値ですから、これは一大事としてとりあえず記念しておくべき「事件」であろうと思われます。

この偉業を達成した栄光ある環境設定は次の通りです。

### ¥CONFIG.SYS

```
DEVICE=A:¥MDEV¥IOSPRO¥VMM386.EXE /I /W=CC /U=D0-DF,E8-F2 /M=DC:8-F3
DEVICE=A:¥MDEV¥IOSPRO¥LUMB.EXE /M /B=1 A:¥MDEV¥IOSPRO¥DC10.EXE 2048 /S
DEVICE=A:¥MDEV¥IOSPRO¥LUMB.EXE /M /B=1 A:¥MDEV¥IOSPRO¥IOS10.EXE 2048 /X /L=1024
/A=FN791 /M
FILES=30
BUFFERS=1 ;←追加 ミリ
DOS=HIGH,UMB
SHELL=A:¥COMMAND.COM A:¥ /E:1024 /P
DEVICE=A:¥MDEV¥IOSPRO¥LUMB.EXE /M /B=1 A:¥DOS¥ESCP.SYS
DEVICE=A:¥MDEV¥IOSPRO¥LUMB.EXE /M /B=1 A:¥DOS¥KKCFUNC.SYS
DEVICE=A:¥MDEV¥ICSRO¥LUMB.EXE /M /B=0 A:¥JFEP¥WXK.SYS /A1 /SD15 /EZ
DEVICE=A:¥MDEV¥ICSRO¥LUMB.EXE /M /B=0 A:¥JFEP¥WX2.SYS /D*A:¥WX2.DIC /DA:¥WX2USR.DIC
/R /RI /F /N /Y /OO /A1 /Q1
DEVICEHIGH=A:¥JFEP¥WX2TM.SYS /A1
DEVICEHIGH=A:¥JFEP¥ATOK8¥ATOK8A.SYS /UCF=A:¥ATOK8.UCF
DEVICEHIGH=A:¥JFEP¥ATOK8¥ATOK8B.SYS
```

### ¥AUTOEXEC.BAT

@ECHO OFF

REM for DOS

SET PATH=A:¥;A:¥DOS;A:¥PMENU;A:¥TOOL;A:¥WP;¥

SET PROMPT=\$P\$G

SET TEMP=E:¥

SET TMP=%TEMP%

SET TZ=JST-9

```

REM for HF
SET HFTMP=%TEMP%
SET EDITOR=VZ
SET HFLAST_DRV=E
SET HFDEF=A:¥PMENU¥HF¥HF.DEF

REM for VZ
SET VZDEF=A:¥WP¥VZ¥DEF¥

REM for TARO
SET JW2P=A:¥WP¥TARO¥TARO5;A:¥WP¥TARO¥JW2;

A:¥MDEV¥IOSPRO¥LUMB.EXE /M A:¥DOS¥MIRROR /TA /TB /1
A:¥MDEV¥IOSPRO¥LUMB.EXE /M A:¥WP¥VZ¥EZKEY -R- -F4 -@2 -N
A:¥MDEV¥IOSPRO¥LUMB.EXE /M A:¥WP¥VZ¥VWX -Z2 -L4096 -X1 -V3
REM A:¥MDEV¥IOSPRO¥LUMB.EXE /M A:¥DOS¥MOUSE
A:¥MDEV¥IOSPRO¥LUMB.EXE /M A:¥PMENU¥HF¥EDSA

A:¥MDEV¥IOSPRO¥DC10 /H
A:¥MDEV¥IOSPRO¥BEX.COM MAX
SELKKC 1 ;←JLF ミリ
CALL PM.BAT
ECHO ON

```

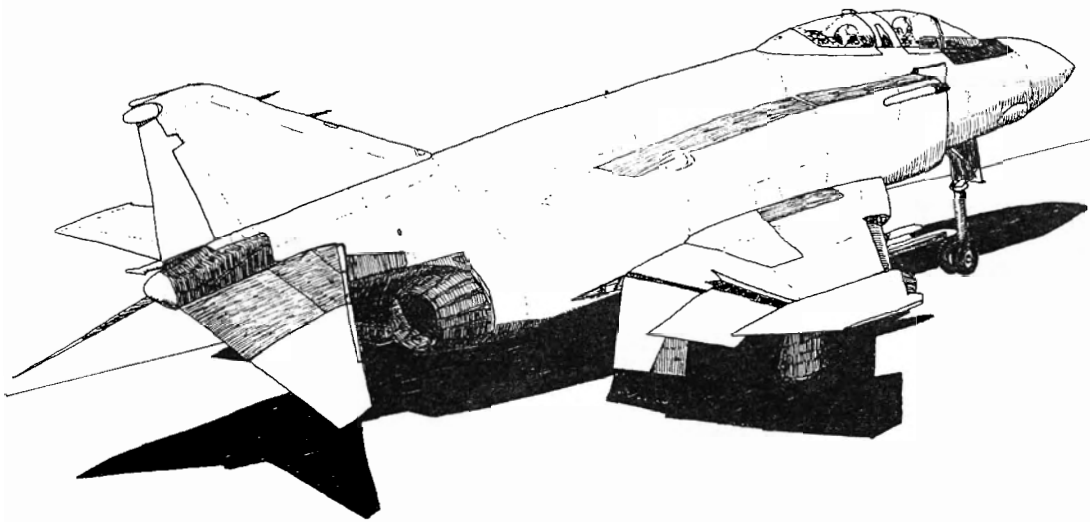
メモリドライブにはI・Oデータの「MEMORY SERVER II」を使用、UMBは100k Bまで拡張しました。(通常40k B余) LUMBとDEVICEHIGHを適宜使い分けたのが効いたと思われます。ATOK8A.SYS以外のドライブはすべてUMBに上がりました。今まで単純な発想からLUMBのみを使用、ADDRVでFEPを交換する(FEPはUMBに上がらない)手法で無理矢理空きメモリを稼いでいたのですが、逆に使うFEPをすべてCONFIG.SYSで組み込み(FEPもUMBに上げられる)、SELKKCで選択していく強引な手法を取ったのが正解になりました。メインメモリには入っていないので空きメモリには影響有りません。BUFFERSもディスクキャッシュ(DC10)に肩代わりさせる事で極限まで削りこみ(動作に支障無し)、ようやくここまで達成しました。これでは放っておいても「AIV」みたいな大きなゲームも動くし、ATOKオンリーでメモリを馬鹿食いする「一太郎」も問題なく動きます。ただDC10には先読みキャッシュ能力までは無いとみえて、Windowsの動作は遅くなるので、これには専用の環境ファイルを用意(Windows添付のメモリドライブを使用、603k B空き、FEPなし)、使い分けで適宜対応しています。起動時に特別なユーティリティ無しで環境ファイルを選択できるのは、EPSON-DOSの秀逸なところでしょう。

追記(2654.09.10)

9月7日に内蔵HDL(ノート用IDE120MB)を追加した結果、有効UMBが減少し、あふれたドライブ(WXX.SYS)がメインへ降りてきて、591k Bに減少しました。(台撃)



# FOX AWAY



*Agnew*

## イザベリア海軍航空隊

### ☆戦果報告

アレックス大佐：

だまされた。完全に空振りだ。連中はあっさりこちらの条件を呑み、先方からの条件はこちらで妥協できる範囲内にきれいに収まった。もちろん群島部への来襲もなかったし、ソ連がちょっかいを出してくることもなかった。それはそれでいい事なのだが、何か裏があるような気がしてならない。何はともあれ諸君の任務は完了した。生き残ったことを釈尊に感謝するように。以上、解散。．．．．

## イエール空軍義勇航空隊

### ★戦果報告

ウシャコフ大佐：敵の情報能力もずいぶん落ちおれたもので、こちらで考えてもいなかった群島部攻撃に備えて防衛体制を固めていた。傭兵舞台も繰り出していたそう。あのような小島、持っていたとしても守備隊の維持に手が掛かるばかりでメリットなど無いに等しい。放っておいてもいずれ財政負担からイザベリア公国は自然崩壊するだろう。諸君の存在はイザベリアに対する大いなるハッターとしてきわめて有効であった。

## FOX AWAYの談話室

そういえば今回は最終回恒例の「皆殺しリアクション」になりませんでしたね。もっとも、プレイヤーが「皆殺しモード」に入っているという噂も有りですが。守りに入っているとされるなら、それを否定することはできないでしょう。

さて、今回は初めて「1-2-3」を処理に導入してみました。NHKのパソコン講座でWindows版を使っているのを見て、「これはいける！」と思ったのですが、．．

またもやハマってしまいました。

実はその少し前に、全く別の用で空廠とは全く関係のない筋からDOS版の「1-2-3」がやって来て、ハードディスクに納められていたため、これを使ったのですが、．．見るとやるでは大違いです。話によるともう孫コピー以上らしいので、当然マニュアルなんか有りっこありません。さりとて解説本を買うほど余裕もないので、類推で作業を進めざるを得ないのですが、現在なお関数のコピーのやり方が判りません。いや、一方所だけにコピーするのなら早い時期に判っているのですが、一列に同じ関数を一発でずらっとコピーする方法がどうにも見つからないのです。有るのは絶対なのですが、ヘルプもまるで役立たずだし、これには参りました。遅れの期間の後半分はこの障害を「大和魂」で乗り越えようとしたために発生したものです。他のワープロでとりあえず仕上げてしまえばいいようなものですが、どうも深層心理の方でそれを許さないようで。何につけてもそうです、一度とりかかってしまうとなかなか易きに流れるのをよしとしないのは。それで大損を被ったことも多いのですが、一向に治る気配が有りません。得た

ものも多いので、治す気もあまり有りませんが。「それがあなたのいい所」なのかも知れません。さらに今回は知人の力を得て、本文に「一太郎」を使ってみました。仕上がりはどうでしょうか。「オーロラエース」も悪くはないのですが、やはりちょっとしたことで「同人誌向き」ではないという恨みがありますね。買ってしまった以上悔しいし、ビジネスソフトでは(しかも格安)中古に出せないし、Blowほど表現力が要らないネットゲーム同人誌向けの小物原稿に使っていますが。早まったことをしたものです。

機会があつてA T O K 8をしばらく使う羽目になっていたのですが、やはり操作感WX2+の方が自然な気がします。何が許せないって、誤変換を[E S C]キーで抜けようとする、いきなり未確定の文字列が全部消し飛ぶのはたまりません。怖いのでなかなか長文入力できません。確かA T O K 8は長文変換で威力を発揮すると聞いていたのですが、これではちょっと首を捻らざるを得ません。ほぼ3メガに達する気違いじみたメイン辞書だとか(ずいぶん使ったが結局単語登録の方法は不明)、その開き直った設計思想そのものは悪い気はしないのですが。まあ、「セミ・シニア」以上の方々にはお勧めできないF E Pです、こいつは。N E C A Iの方がまだマシでしょう。

## 御詫び

まず、F O X A W A Yの発表が異常に遅れたことを御詫びします。それから、あまりに強引な幕引きだったことを御詫びします。

そして本命です。

今回の処理にはそれこそ敗戦処理の様な大混乱が終始付いてまわりました。個々を挙げるのは弁解がましいし、キリがないので止めますが、例えばキャラシート紛失・廃棄未遂事件等という空廠始まって以来の不祥事まで発生しました。

結局この事件の影響で、この発表も不完全なものに終わってしまいました。普通なら居る筈の(入金を確認されている)方のキャラシートが、どれだけ探しても出てこないのです。副次的産物として部屋の模様替えが発生するほど探し回ったのが逆効果だったかも知れませんが、私がたるんでいたための惨事としか言い様がございません。しかし時間的に今からやり直すこともできませんし、バランスを保つためにもF Aはこれで終了とします。

次のシナリオは「F i n a l T r o o p」です。古参の方はもう元ネタはご存知でしょう。ラストを飾るには、これ以上となるともうパテントを犯して原題を付ける他有りません。舞台は日本とし、参加できる機数は一人2機までに絞ります。大編隊が飛び回ってポタポタ落とされるのは、いかにもリアリティに欠けますから。また、爆撃任務を廃止します。システムそのものも「落ちない」のではなく「落とせない」、現代戦らしいものに改変しました。よりF Tらしさを求めた作りになっています。ただ、あるいは物足りない物に終わっているかもしれません。

その他フル・モデルチェンジに近い改変が加えられる予定です。ご期待下さい。

## 次回予告

F Tルール遂に発表なるか?未だ一機分たりとも仕上がっていない機体側面図、その対策は如何に?正宗はすでに開き直っているとの噂もあり。

F-16はやはり登場しないのか?M i G-29は?そしてY a k-141は?I l-102等という超キワモノ登場との情報もあり。情勢は予断を許さず。

ポロリも有るよ!(何のこっちゃ)

SD	BS
2	3

プレイヤー	Sq	乗機	コールサイン	キャラクター名	SD	BS	SP	過去	QP	階級	状態	機体
菅原忠幸	70	H n t	ウオッカ	ジャック・ジャクソン	0	0	3	2	3	准尉	生還	無傷
	70	J 3 5	ハリケーン	ディーズ・チャレンジャー	0	0	21	20	4	少尉	生還	無傷
	72	F 1 1		ヨーゼフ・オスマイヤー	0	0	1	0	1	准尉	生還	無傷
	72	B P h	虎豹騎	ロン・ジャレン ツァイ・ツォイリン	0	0	87	86	16	少佐	生還	無傷
	72	F 4 E	風神	キーン・ウ・テル ユリウス・ブランデット	0	0	103	102	12	中佐	生還	無傷
	72	F 4 E	雷神	ジョン・ミズガ レオ・ブラッドレイ	0	0	111	110	9	中佐	生還	無傷
	72	5 3 0	昇龍	リュウ・ジキネ	0	0	187	186	37	上佐	生還	無傷
	日高耕	70	F 1 1	Vulcan	バーナー・ハイテンスカム	0	0	8	7	4	准尉	生還
70		F 1 1	Artemis	アルバート・カミュ	0	0	15	14	5	少尉	生還	無傷
70		J 3 5	Tool	ボーム・ランゲル	0	0	21	20	5	少尉	生還	無傷
70		F 5 A	Dionysus	エドワード・オコナー	0	0	48	47	6	大尉	生還	無傷
70		L g n	Helios	ニールス・ヤネ	0	0	63	62	6	大尉	生還	無傷
70		F 4 E	Hephaestus	チャップ・マカガイ ロバート・マカガイ	0	0	134	133	17	中佐	生還	無傷
72		A 4 F	Aurora	ジェームズ・レック	0	0	56	55	5	大尉	生還	無傷
72		A 4 F	Eos	ゲオルク・セフェリス	0	0	57	56	6	大尉	生還	無傷
72		F 4 E	Bacchus	ウォルfgang・レオンハルト カール・フォン・オシエツキ	0	0	144	143	19	大尉	生還	無傷

## イエール空軍義勇航空隊

プレイヤー	Sq	乗機	コールサイン	キャラクター名	SD	BS	SP	過去	QP	階級	状態	機体
菅原忠幸	99	A 5 III	クラブ	シーティ・ボンベイ	0	0	14	13	4	少尉	生還	無傷
	99	A 5 III	スベード	ローレンス・シムット	0	0	17	16	4	少尉	生還	無傷
	99	A 5 III	ダイヤ	ショウ・ナリモト	0	0	8	7	2	准尉	生還	無傷
	99	A 5 III	ハート	チョコ・ブラエ	0	0	12	11	4	少尉	生還	無傷
	99	A 5 III	ジョーカー	アドルフ・フォルスタット	0	0	19	18	4	少尉	生還	無傷
	日高耕	99	B c n	サインボルフ	アレクサント・ル・スタンボリス ビョートル・ストルビゾン	0	0	23	22	5	少尉	生還
99		B c n	サインボルフ	アレクサント・ル・スタンボリス	0	0	23	22	5	少尉	生還	無傷
山田国見	90	F 1 1	Harpy	ビエール・ラクロ	0	0	23	22	6	少尉	生還	無傷
	99	A 4 F	Mermade	ジョン・ラシーヌ	0	0	33	32	6	中尉	生還	無傷
	99	F 5 A	Gargoyle	ピンセント・ラケサ	0	0	42	41	6	中尉	生還	無傷
	99	A 6 A	Sphinx	アレクサント・ラジシチエフ アロイス・リーゲル	0	0	45	44	6	大尉	生還	無傷
	99	F 1 C	Prudence	ウィリアム・ライパー	0	0	90	89	14	少佐	生還	無傷
	99	J g r	Chimaera	クスタフ・ラムステット	0	0	69	68	6	大尉	生還	無傷
	99	A 5 B	Gorgon	ウィリアム・リカー ロバート・リュー	0	0	69	68	6	大尉	生還	無傷
	99	5 3 0	Caprice	ジェームズ・キングスベリ	0	0	109	108	12	中佐	生還	無傷
	99	F 4 E	Dare devil	オマール・ハイム ボーム・ラーベント	0	0	144	143	6	大尉	生還	無傷
	99	P n t	Awkwardness8	カール・トリス レオン・ブルームハルト	0	0	149	148	19	大佐	生還	無傷
	99	P n t	Awkwardness8	カール・トリス	0	0	113	112	14	中佐	生還	無傷

## 武蔵のらりめん問屋です

うーん、「元」編集者の性ですね、三雑見てると何か一筆書きたくなる。因みに前号のあとがき、「福岡」とあるのは「福井」の誤りです。いくら何でもそう立て続けには行けやしません。その福井にしたって、名古屋の宴会に行くために祖父母見舞いを名目に旅費を捻出した位です。

そうそう、福井で久々にMT車に乗りました。ホンダシビックの4WDで、何故かアイドリングが2000回転も行ってたり、(普通は500くらい)間違っただけいきなり3速につないで走りだしてもエンストしないし、なかなか楽しい思いをさせてもらいました。

さて．．．

「新作」の人々。

私が「格闘ゲームのだめな人」な事は以前から言ってきた通りですが、その代わり「Ridge Racer」(スペル合ってるかな)にはぞっこん(死語)です。下手っぴいで、ATでもアップアップなんですけど。ああ、早いとこ壁にぶつからずに完走したいものです。

「切手」の赤木さん。

あまり換金する切手が多すぎると、郵便局員にも不審げに見られますし、それだけでなくもいい顔はしてくれないので辛いのです。察してやって下さい。

「中古パソコン～」の羊歯田さん。

私は例えセコハンでも物理的に使用不能になるまで使い倒す主義の人で、「下取り」なんてのは縁遠い話です。だから88FRも黄ばみながらデジタルRGBディスプレイと「長い余生」を送っていますし．．．そうそう、教育学部のコンピュータの授業がBASICを教えていると云う事実を、最近初めて知りました。妹がやってるのですが、おかげでFRもゲーム専用機から「奇跡の復活」を遂げています。

プリンターの話。宅のMJ-500V2は去

る4月1日にトナーカートリッジを交換しました。4ヶ月で1個というのは早いのか何なのか、少なくとも遅くはないことだけは確かなようです。特に初期は意味もなくハードコピーを取りまくったしなあ。ただ困ったのは、普段の行動範囲(妙蓮寺-渋谷-駒沢大学)にカートリッジが無かったこと。結局横浜まで出てプリンターを買った店で調達する羽目に陥りました。「NECチェック」がこんなところにも(違うって)。

因みに家ではページプリンターは不要です。そんなやたらな量はプリントアウトしないし、てのは建前で、実は電子レンジ・乾燥機・掃除機の組み合わせで運が悪いとプレーカーが落ちる(30A。4人家族では往々にして起こり得る)ので、電気バカ食いする周辺機器は入れられないのです。だから降参です。でもCRTは17inだもんね。これに勝つには21inを入れるしかないでしょう。あとプロジェクター(何に使うんだ)とか。

今は不景気だし、メモリやボードを増設したくても手が出せないのが辛いです。外で原稿打ったりゲームしたりするのにノートも欲しいし(NL/RかNAS辺りを狙ってる)馬で大勝ちしないとなあ。

「挑戦状」の孝行さん。

ゲーム研に持っていったら一発でバレました。解禁したからって、いきなり「ぬぎぬぎげえむ」は止しなさいって。しかもPC使ってるし。判った瞬間私ものけぞっちゃいましたよ。大胆な事するなあ。堪忍してや。

フリーウェア屋っす

PC-9801用フリーウェア、次のものが手許に有ります。

\*CHA2BEN

「あかずきんチャチャ」のCPUベンチマーク・アニメーション。486機ならSXで150、DX2/66で340は行くはずです。(何の数字かは敢えて言わない)

\*YORO

おキヌちゃんが「横島さん喜ぶだろうなあ。．．」と言うだけの、でもファンにはたまらないアニメーション。

\*LUPIN

ルパン3世（新）の全話サブタイトルを、あの「効果音」と共に再現するだけ。

\*セーラームーン壁紙

2種類。気がついたら手許に有りました。別に私はファンじゃないっす。

\*アイアンリーガー壁紙

5種類ほど。同上。

\*紙芝居

「マッチ売りの少女」のゲーマー向けパロディ版なのですが、「イッちゃって」ます。5コマだけなので、そんなにタルくはないです。

MS-DOS ver3.3C 以上でのみ動作確認済み。全てドキュメントと対応するグラフィック・ローダー添附、ウィルス対策としてフロッピーだけで動作するようにシステム転送も済ませます。EPSON版5.0ですが、98RX及びH98（バイト先に有る）でも動作を確認していますので、問題有りません。

フリーウェアですからお代は無料です。送って下さったディスクにコピーします。2HDなら5/3.5inどちらでも構いません。8in2Dやカセットの様に、受けを狙ったメディアは対応に困るので絶対に送らないように。MOもまだ対応してません。

更に空技廠ブランドのソフトも有ります。

第1弾 終戦詔書（ほぼ完成）

文字通りの物の全文です。送り仮名は全てカタカナ、参考資料が間違っていないければ用字も原文通り。パソコン無いよ、と云う方にはプリントアウトして差し上げます。楷書、毛筆、ゴシックの何れか。連署した「各國務大臣」がまだ判然と

しないので、御存知の方はお知らせ下さい。

第2弾 かい人21めんそう 全脅迫文集（予定）

昭和末期に一大センセーションを巻き起こした凶悪犯「かい人21めんそう」は、同時に当時の悪童どもにとって「危険なヒーロー」だった。独特な言い回しによる脅迫文の全てを、MS-DOSテキストファイルとして収録した大作！

第3弾 MIDIファイル 鉄道唱歌（予定）

特急列車等で車内放送時にかかるあのメロディを、MIDIの高音質で再現。WINDOWSのお供にどうぞ。

困った時のコラム頼り

と、いうわけでこれが第二部です。実はこの「24と1/2」は仕上げに極力Winを用いているのですが、お金の有るところというのはやはり存在するもので、そこにつてがなければ今回のような無茶もできなかったでしょう。このコーナーは一太郎を用いてつくられています。他の大部分はAmi Pro R3Jを用いて仕上げられています。何でこうなるかという、Ami Proでの段組み方法が要領を得ないからで．．．いやそんな事より、その「お金の有るところ」の仕事を請け負ったおかげで、フリーウェアばかりでまともなソフトは何一つ入ってなかった家のパソコンに、突如としてロータスの「Super Office」が入ることになったのでした。その副産物として空廠も本格的DTP体制を整えられることになったわけです。後は本人の能力次第。

そこで格言。

どんなにいい環境を整えても、  
本人の力が低ければ、意味なし。

肝に銘じておくことにしませう。

## 94年国勢調査 集計発表

今回は暑い中、アンケートにご解答頂き有り難うございました。いただいた解答は次回からの発送先の確認に活用するとともに、今後の活動の指針として参考にさせていただきます。

### 総評....

極論すると、皮肉にも一番古いGG時代からの参加者が一番信頼できるという結果に終わりました。最近入ってきた方からの返答はほぼ皆無。確かに、一番まともに活動していた時代をご存知ありませんからね。「信じてくれ」と言ってもマユツバものでしょう。

そして更にクッキリ出たのが、関東地区の空洞化。数年前までは関東勢の方が圧倒的に多くて、「全国に拡張する空技廠」を目指していたのですが...その交流媒体として「Blow」を出して以来関東勢は減り続け、今では片手の数でも余るほど。これではイベントを開こうにも無理があります。

それから、空廠以外に参加しているPBMサークルが無い、という人が多いのも意外といえば意外。これは結構責任重大かもしれません。もう少し質の向上を心掛けないと。

### 1. 今回の遅れ について

「勘弁しとく」と寛大な方が多かった反面、やはりいました「ふざけんな」組。私としては全員こっちだったとしても変ぢゃないと考えてたので、むしろ意外です。でもこれに安心すると次が怖い、なのでしょう。

### 2. 田中に代わって について

「失敗だ」がそれ程いないのも意外といえば意外。それ程号数が出ていないので無理もないかもしれません。

### 3. 今の値段 について

これは以前から考えていた「Blow」無料化に先立って出した質問です。「相場」がほとんどでした。

### 4. クレギオンのこと

現在空廠でクレギオン交流誌の機能を備えることで、Blowの再開発を狙っています。「わからない」がほとんどだったのは情報が不十分だったので仕方ないかもしれません。

### 5. 空廠の改善点

「締め切り」関係が圧倒的多数。やはり遅れる最中にこの質問を出したのは不適切だったかも知れません。もっと指摘がバラけるのを期待していたのですが...

### 6. RPGの話

ソーワーでもGURPSでもなく、オリジナル2編になる可能性が大になってきました。とりあえずは10月以後の号をご期待あれ。

### 7. リストラ計画

特に、というか全く案無し。「Blow」が収まりが悪いような気がするので、変えようと思っていたのですが...特に案無しなら面倒なので放っとく事にします。

### アンケート返送のお願い

今回お送りした「国勢調査」の結果を基に、今後の「Blowers」を発送します。御返送いただけなかった方は継続の意志無しと推定して、次号から発送を停止いたします。

次号からも継続をお望みの方は、至急アンケートを御返送いただけるようお願いいたします。

### 本の代金について....

先にお送りした「廠報」にて、「FA」「真鶴」復活までの間 Blowers を無料化する旨お知らせいたしました。FA が終了した事でもあり、これを機に次号から一律無料とします。参加料の類も一切いただきません。

パソコン通信の世界には（私はやってませんが）、「フリーウェア」なる物が存在します。パソコン雑誌をご覧になっている方はしばしば付録になるのでよく御存知でしょう。これはどんな物かといえば、「個人による、個人の為の、個人のソフト」を無料で提供し、自由に使うてもらうという物です。特定の環境下で構想されたものなので、必要な人にはものすごく有り難いのですが、そうでない人には何の役にも立たない、そんなソフトです。概して小粒で、その代わり体さばきは軽快です。これを更に一歩進めて、「文章」を公開し、読んでもらって「妥当」と思われる金額を払ってもらうシステムの「シェアテキスト」というものもポツポツ出始めているようです。この辺は Blow が目指すべき方向性を、かなり具体化していると思います。

白状しますが、私の趣味嗜好はおよそ一般には受け入れられない性質の物です。懐古趣味で、そのくせ先物嗜好が強く、かと思うと流行には鈍感だし、セーラー服フェチで、それ以上にメカフェチ....ときたら、こりやもう普段は化けの皮を二三枚かぶった程度では危なくて御天道様の下は出歩けません。空技廠は、そのはげ口という一側面を持っています。おそらくはそれが「普通」の読者が居辛さを覚える要因の一つなのでしょう。

今までは万事が成り立たないので「本代」をいただいていたのですが、最近ではようやくいくらかの「体力」もついてきた事ですし、この辺で「本代」は止めようと思う次第です。

その代わりと言っては何ですが、皆さんからいただきたいのが、「言葉」です。悪口雑言、罵詈譏、中傷誹謗でも何でも構いません、とにかくあなたの「顔」を本の上に見せて下さい。この事はもう随分前から折りに触れて言ってきたと思うのですが、なかなか思うように行きません。別に「言葉」が無かったから本送ってやらないとか、そんないじけたセコいまねはしませんが、それなりの努力はしてみして下さい。きっとあなたにとっての「空技廠」が違った存在になってくると思うのです。

### 今後の展望....

今までは面舵270度ほど方向性を変えたいと思っています。やってる人間が同じなので根底に流れるものは変わりようが無いのですが、見ている方向を変える事は可能です。

今までは他の「いい本」のいいところを取り込もうとあせるばかりに無駄な労力が空転する結果になり、悪循環を形成していた傾向が有ります。

空廠ももう8年目です。いいかげん「自我」が確立していなければならない時期にきています。これからあと何年続けられるか、それは「神のみぞ知る」ですが、とにかく悔いの無い終わり方をしたいものです。

### 例の競売について

菅原さんが以下の物を各400円で落札されました。

- 光文社文庫 9. 15. 21
- 世界大戦文庫 10

入札者は菅原さん1名のみです。

次のページにもう一度一覧を載せます。

諸般の事情から目標を PC-386NAR に切り下げ、また購入時期を当初の9月中旬から12月5日（11月分給料支払い予定日）以後に延期しました。これにより、第二次入札期限を10月31日、入金期限を11月30日とします。結果はまたBlow誌上で公表します。



## 御品書き

1.航空ファン増刊	イラストレイテッド45	第二次大戦アメリカ海軍戦闘機
2. 同	イラストレイテッド46	第二次大戦アメリカ陸軍戦闘機
3. 同	イラストレイテッド58	第二次大戦アメリカ陸軍爆撃機
4.光文社文庫	ミリタリー・イラストレイテッド 5	米ソ原子力艦隊
5. 同	ミリタリー・イラストレイテッド10	世界の戦車
6. 同	ミリタリー・イラストレイテッド22	戦うヘリコプター
7. 同	ミリタリー・イラストレイテッド26	ソ連軍
8. 同	ミリタリー・イラストレイテッド29	WWII米戦闘機
9. 同	グラフィティ・太平洋戦争の勇者たち	日本の名艦
10. 同	グラフィティ・太平洋戦争の勇者たち	日本の名艦
11.SONY	D-33	"Discman"

各書とも色あせ、書き込みなど多少あり。11番はACアダプタ、ラインケーブル、イヤホン完全添附。

航空ファン増刊は一冊1,000円から。文庫は200円から。Discmanは10,000円からの、1000単位での競売です。9月末、10月末に集計して、その時点で一番高値を付けた方に競り落とします。

### 付表 空技廠ノートPC導入計画・改定版

2654.09.08.

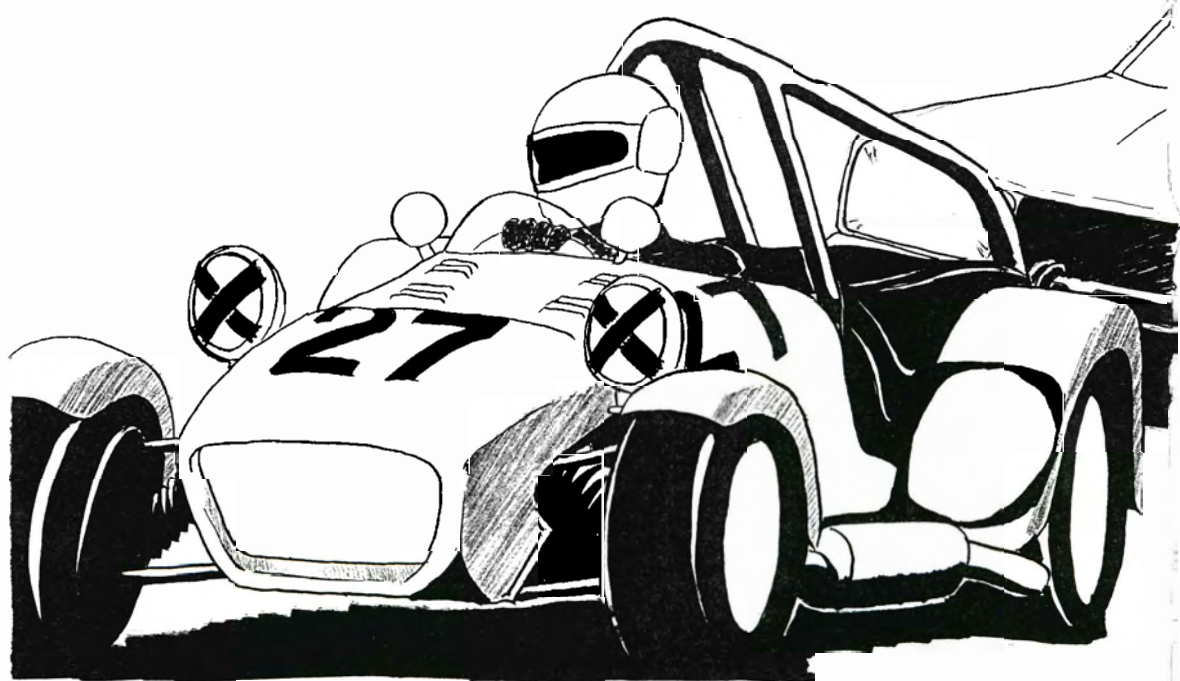
第一段階	本体	EPSON PC-386NOTE AR (中古)
		CPU:AMD386SX/25MHz
		RAM:1.6MB
		FDD:3.5in×2内蔵
		HDD:なし(内蔵可)
		予算:90,000円
第二段階	ハードディスク	120MB級 (新品)
		予算:20,000円
第三段階	内蔵SIMM	4または8MB
		予算:20,000円~40,000円

資金状況に応じ、段階を追って逐次買い揃えるものとする。当初はフロッピーのみで運用、使用ソフトはVzエディタに限定する。HDD導入後、オーロラエースをインストールし基本的な装飾は済ませられるようにする。さらにRAM搭載後は五太郎を投入、残す作業がAmi-Proへの読み込みと印刷のみという状態まで持ち込む。

航続時間2.5時間は要求条件を満たせないが、この際やむを得ざるものとする。EPSON-DOSがそのまま使用できる事は手慣れた環境を使える事でもあり、安心感がある為多少の埋め合わせにはなる。

以上

# 真鶴学園風雲録



# 真鶴学園風雲録

文・岬当麻

## 「嵐の前」

交通研究会自動車班主催によるオートレースが開催されたのは、期末試験が終わった後の、最初の日曜日だった。ちょうど「試験休み」の最中であたっていて、参加者達はそれまでにそこそこ練習を積むことができた。菅原絵馬は参加はしなかったが、よく自動車班のサーキットへ顔を出した方である。彼自身は車にさほどの興味はなく、レースに参加する南雲や初雁の練習を見物に現れる榛名達に用が有ったのだった。雪風について、知りたいことは山ほど有る。

無理もないことではあるが、雑多な車種がヨタヨタとコースを走っていく様は、なかなか滑稽な物が有る。車の事は知らずとも、見ているだけで楽しい、そんな和やかな空気がそこには漂っていた。だからある意味では、彼らの集団は特異だっただろう。周囲の空気につられて、彼も榛名に聞いてみた事はある。

「先輩は走らないんですか？」

「私なんかはホラ、海女サンだからネ」

榛名は苦笑しながらウインクして見せた。少し前に暴発した噂が嘘の様だ。

流線型のスポーツカーがコーナーで初雁のブルーバードのすぐ真横を擦るようにはかっ飛んでいくのをハラハラして見送りながら、彼は榛名の横に腰を下ろした。いつも通り、しばらくレースについて話を聞く。何だかんだ言って榛名も割と車に詳しいのだった。もっともどこか偏向しているような気がしないでもない。何というか、国産至上主義で、しかも「旧車」を偏愛しているようなのだ。そういえば初雁の

ブルーバードも、言われてもピンと来ない真四角な形で、妙に小さい。艦隊派はみんなアナクロニストだと頭から信じこんだ彼の判断は、誤りではないだろう。

「雪風が動いたら、どんな感じでしょう？」

菅原はふと、思った事を口に出してみた。その場の空気にはいかにも不釣り合いだったが、不思議と気にならない。

「そうだね。白波を蹴立てて、鋭く．．．」

榛名はそこまで言うと喋るのを止めて、深く息をつきながら仰向けに寝転がった。

「でも、もう動かないよ．．．」

「兵装は動きましたけど」

「あ、もうそんなとこまで見たんだ」

口ではそう言っても、榛名は会心の笑みを漏らしていた。「．．．ま、そりゃ、ね」

山城と顔を見合わせて、うなづく。菅原にはそれだけでピンと来た。

「まさか、先輩達が？」

「ポンピーン」

山城がちょっとポーズをつけて答えた。榛名が後を受ける。「本当は全部やりたかったんだけどね。たった5人じゃエンジンの整備なんて無理だし、中の掃除と、細かい部品の油差しが精一杯だったなあ」

「全部、ですか？」

「そう」

榛名はまた起き直った。「夏休みとかにちょっとずつね」

菅原には絶句するしかなかった。同時に、坂井が殴られた訳も、何となく見当がついてきた。

「もう、海に返してもいいんじゃないありませんか」

言ってる内容は同じだから殴られるのは覚悟の上だったが、不思議と榛名は怒りもしなかった。

「それは私も思ったけどね」彼女は膝を抱え込んだ。「私達だけじゃ無理だし．．．雪風の存在を公にする事は、同時に雪風を海から永遠に遠ざけることになる。私にはできないよ」

一陣の北風が、サーキットを通り過ぎる。ごうという風切音の中で榛名が呟いた一言はそれでも菅原に聞こえた。「いっそ、あの洞窟が崩れてくれれば．．．！」

\* \* \* \* \*

レース当日は快晴だったが、第一戦の二輪部門は前日夜に中止が決まった。舎監から生徒に通達されたのが夜も遅くなってからだったから、次の日（当日）早くに班長代理の榊裕が職員室に居る顧問の青木先生のところへ抗議に行った。

「急だったのは悪いと思うけどね。やっぱり二輪は危ないから」

それから周りを見回して、聞こえないように囁いた。

「生活指導から圧力がかかってたんだよ」

生活指導といえば鹿間先生である。「授業」の枠の中では一種宇垣に通じる懐の深さも有るものの、規律を重んじる事にかけては他の追随を許さない。しかるに、校則では自働二輪車の保有は禁じていたし、彼は常日頃から「バイクは暴走族の持ち物だ」と言っただけからなかったから、充分納得できる事だった。榊としてもそこまで抗議する気は失せてしまった。

その辺の事情は生徒なら誰でも思い当たる事で、さほどの混乱もなく続く四輪部門に移る。こちらレギュレー

ションが厳しくなった。おかげで特に「走り屋仕様」と呼ばれる以上の改造を施した車輛は走れなくなった。もともとレーサーとして作られている車輛は別扱いだったが、それも実在仕様と程遠い物は外された。運の悪い事に体育科の教員は普段が暇だけにそういった方面の知識が豊富で、ごまかしの類はまったく通用しなかったのである。

ペースカー「プリマウインナー号」を先頭に、10数台の参加車がピットから出るが、観覧席にあたるコース脇の土手では例によって例の如く賭けが始まっていた。娯楽に乏しい土地柄ゆえ、とにかく何でも賭けになってしまうのである。無闇やたらにチューンした車輛が無い分だけ、こちらの方は賭けが分散して、面白味は増していた。

レースには宇垣も出ていた。「一家」の面々が大概の賭場の中心だったし、立場上もあって彼ら自身彼女に張っていたからオッズの上ではガチガチの本命馬だったのだが、これは見事に外れた。というのも彼女は「招待」という形で班長の沖田玲郎からプレゼントされた「プリンス・グロリア」で出走していたのだが、序盤から出遅れた上に3周目くらいのペースが上がりはじめた辺りでコントロールを失い、コーナーで曲がりきれずにコースアウトしてクラッシュしてしまったのである。ただ車については沖田は責められまい。宇垣自身が予め用意していたのも次の年式の縦目グロリアだったし、もともと彼女は自転車ツアラーでハイスピードには慣れていなかったのだ。

さて「荒れた」展開で善戦したのは中学生勢である。中2Aの早坂理絵は「ストレートの長いFISCO（富士）で戦うにはパワーの有るマシンでないと不利」とばかりにトルクの化け物・「フォード・RS200」で出場していた。元々グループBラリー用の4WD車である本車は、1800ターボエ

ンジン350馬力のミッドシップで、とにかく加速とコントロール性能がすごい。．．．が、場に対してオーバースペックの感は否めなかった。そもそも全員が若葉マーク以前であるから、アベレージも100キロを越える事は希だったのだ。これとよく張り合ったのは中1Aの剣持光羽の「メルセデス・ベンツ500SEヤクザ仕様」であろう。文字通りポテポテに装甲を張り、スモークガラスまで装備して辺りを威圧しながら、自分は車体重量で稼いだロードホールディングとアウトバーン育ちの高速性能（と言ってもやはり大して出せなかったが）で独尊的な走りを見せたのである。ふつかったら勝負は見えているから、皆がコースを開けた。

レギュレーション審査でほとんどが落ちた高校生勢の中でも、梅田香奈は幸運な方だろう。「マルチニ・ポルシェ917K」は程々のところでバランスを保った走りを見せ、堅実な作戦が幸いして3位に入った。

平和といえは平和だったのは、班長のゲータム・スーパー7だろう。可もなく不可もなくで無難に走りきり、中盤ハイパワーを御しきれずにエンジンを焼き付かせ、あえなくリタイアした早坂ら「モンスター組」を尻目に10馬身差ぐらいでチェッカーを受けた。

初雁は「日産ブルーバード1800SSS」で出場はしたが、終盤第一コーナーでインを突きすぎ、コントロールを失ったところで彼女のスリップストリームを狙っていた南雲の「日産ローレル2000GT X」ともつれ合い、リタイアしてしまった。

\* \* \* \* \*

無差別級の方は青木先生が粘ってくれたおかげで何とか「ノン・レギュレーション」同然のところまで持ち込まれた。何か有ると大概生徒の側に立っ

てくれるのが青木のいいところで、だからこそ榛名達も交研でやりたい事ができた訳だ。

が．．．

ふたを開けてみると、「ノン・レギュレーション」と言うよりは「無法地帯」に近い状況になっていた。やはり二輪は出走取り消しだったのだが、ピットの状況を目にすれば誰も二輪で出ようなどとは思わなかっただろう。

一番平和だったのが紳の「ロシア装甲現金輸送車」だった、と言えは判らうか。次に平和なのが梅田の「ベネロープ号」である。激しいブーイングが巻き起こったのが、中1Aの野木坂若葉と高1Aの南部沙紀がペアで乗る「特二式内火艇」だった。今風に云う「LVTP」、即ち水陸両用戦車なのだが、「内火艇」であって「戦車」ではないという言い分が通って出走も認可されたのだ。もっとも、「日本製」だからパスできたという見方もある。

再び「プリマウインナー号」がペースカーとして走り出す。．．．が、最初の一週は極めて長い一週になった。ペースカーは立場上周回遅れを出すことは許されない。しかし野木坂らの「内火艇GT」はノーマルの最高速でも40キロ出れば上等、という厳しい現実があった。最初の一週がようやく終わって「プリマウインナー号」がピットに入ると、身もたえするような低速で後ろに続いていた者達が一斉に彼女らの横をかすめていった。クラクションを持つ者はブーイングの意味も込めて派手に煽り立てた。

が、野木坂はあくまでマイペースに、アウトコースをヘコヘコと進んだ。

結局のところこちらの方は種車そのものでウケを狙ってあまりいじらなかつた「ベネロープ号」と「ロシア現金輸送車」がきれいな1-2フィニッシュを決め、前評判の割には順当な勝負に終わった。

\* \* \* \* \*

試験期間中から、早坂の誤解は解けるどころか深まる一方だった。

「．．．そうやな。普通黒幕は、直接手え出したりせんもんな。それに、丁度みんなで大貧民らあて、都合よすぎるわ」

．．．そりゃまあ、そうなのだが。

「前回の被害者やった宇垣はんまで一緒におった言うたら、普通疑やせんもんな．．．多分下っ端使うたに違いあらへん．．．」

で、何をしたかという、野木坂に触手を伸ばしたのである。

井村や有明あたりでは、なまじ艦隊派との接触が長いだけに榛名の洗脳を受けている危険があると見たのだが、実のところ事はそう生易しくなかった。野木坂の「方向性の違い」は早坂と180度違う、などという程度では済まなかったのである。ただ野木坂の方は行動原理が「興味本位」だったから、グルにするまでさほどの手間はかからなかった。

野木坂はそれ以来事あるごとに宇垣たちの後をつけ回してみたが、これとって怪しい人物と接触する様子もなく、「ボロが出るのを待つ」方法は長期戦の様相を早くから見せ始めた。業を煮やした早坂は奮発してF-14Dを買い込み、わざわざ後席までつぶして情報収集用の電子機器を搭載、前に作ったB-38改「大空魔龍」と連携したELINT機を作り上げた。他機種用の既製品ばかりを使ったので他の手を借りることもなく、工作は1日で済んだが、戦闘能力の方は完全に零になった。

彼女はこれに昔のSFから「雪風」と名付けて尾翼に書き込んだ。後日、「扶桑事件」が起きた頃から野木坂が

彼女を見る目が変わったが、その理由を早坂が知る由はなかった。

結局その後は「怪電波」の影響など影も形もなくなり、また、しばらく続けていた調査でもあの「電波」による被害はなかったことがわかって、彼女にとっての「事件」は謎を残したまま終わった。

\* \* \* \* \*

坂井法子は例の「殴打事件」以来、艦隊派から手を引くことにした。人を呼び出しておいて人を「バグ」呼ばわりし、ほんの一言程度で取り乱しておきながら殴るだけ殴って音沙汰なし、では普通そう思うのも無理はない。

このままじゃ、私までどうにかなくなってしまふ．．．

試験が明けると、彼女は再び空に自分の活路を見出そうとした。落ち込んでいる朝比奈を立ち直らせること、それが手始めだった。旅は道連れ、ということか。渋る彼女を半ば強引にF-18Dの後席に押し込んだ坂井は、今までのことを全て放り落とさんかの様に無理な機動を続けようとした。

二、三日もした頃から、朝比奈も少しずつ心を開くようになってきた。むしろメインは「立ち直ること」にあった彼女である、その機を逃すようなことはしなかった。

「いつも通り」にアクロバット紛いの機動でほとんど一方的な模擬空戦を済ませた後で、夕差しの中を流しながら、彼女は朝比奈に語りかけた。

「あなたがどんなに悲しんでたか、正直言って私には判らない。けどどね、あなたが彼女の事を思うなら．．．うまく言えないけど、もっと強く、シャンとしなきゃ。それに．．．彼女は生きてるよ、あなたの中で、彼女を知ってる人達みんなの中で．．．」

朝比奈は何も答えなかったが、バックミラー越しにチラと見てみると、う

つむいて泣いている風でもあった。

そんな事を言った晩に、再び坂井を動揺させるような事件が起きた。

寮で一人夕食をとっていると、見慣れた顔がぬっとのぞき込んできた。

「提督先輩!？」

「... やっぱ駄目か、髪まとめると。ダメだねー、変に色気なんか出しちゃ」

彼女は頭をくしゃくしゃにした。それにその声、紛れもなくはるなである。

「あ」

「... いいけどさ。あした朝から空いてるかな、どうしても見せたい物があるんだ」

「?... はあ、まあ...」

何か嫌な胸騒ぎはしたが、坂井は何となく承諾してしまった。

\* \* \* \* \*

翌朝、朝食後すぐに、坂井は寮を発つ事になった。はるなの他に同行者は二人。扶桑和子と中1の女子である。名前は剣持光羽と云った。茶道部の、少女漫画によく出てきそうなおっとりしすぎた感じのある子だ。

どうもどこかで見たようなシチュエーションである。ただあの時はフルメンバーだったが、今回は半分しかない。

「長門先輩とかは?」

「今回は来られると、逆に困る」はるなは心なしか固い口調だった。「あいづら、あれで口が軽いから」

「いよいよそうだ。」

「提督先輩と何か関係は?」

「... え?」はるなは意外そうな顔をした。「榛姉がどうかした?」

「いえ、いいです」

もしかしたら思い過ごしかもしれない。

東京行きの東海道線に乗り込むと、また雲行きが怪しくなってきた。

「二人とも、二式大艇は知ってるかな」

扶桑の問いに剣持は肯いたが、坂井は知らなかった。彼女は戦闘機の事はともかく、それ以外の事はまるでチンプンカンプンである。

「海軍ですか?」

「それだけ判ってりゃ上等かな」

はるなは仕方なさそうに、しかし予想していたとでも言いたげに、持っていた手提げから一冊、栄松堂（横浜の大きな本屋）のカバーがついた文庫本を手渡した。「最後の二式大艇」という書名がついている。

「少し予習した方がいいよ」

それだけ言い残すと、はるなは大きな欠伸を一つして、居眠りを始めた。扶桑の方も、はじめは何か参考書を見ていたが、国府津を過ぎた辺りで船を漕ぎだした。剣持と話をする気には、どうもなれなかった。

一行は横浜で下車して根岸線に乗り換え、新杉田で改札を出た。そこからバスに乗り、とあるバス停で降りると、日本飛行機の大きな工場が広がっている。

「こんにちわ」

はるなと扶桑は守衛に会釈しながらそう言って、すたすた工場の中に入って行く。ふと顔を見合わせ、慌ててついて行った二人を見送る老守衛の表情は、わずかに哀れみを含んでいたのだが、彼女らは気付かなかった。

工場を随分奥まで行くと突然海が目の前に開け、物置のような建物が一軒、不自然な形で海っ縁に建っていた。

「さて」

はるなは言いながらポケットから鍵を取り出し、重そうな鉄扉を開いた。

目が慣れるまでに、少し時間がかかった。しかし目が慣れると、今度は「またか!」と言う思いが真っ先に坂井を襲った。

「今でも飛ぶよ、こいつは」

はるなは艇体を叩きながら二人に言

った。

「結構、変な癖が有るみたいだね。今は海軍賢人会が維持してる。もっともほとんど二世だけだね。時々夜になると飛ばしてるんだ。私らは免許がないから飛ばした事はないけど、乗せてもらった事はある。米軍の接收を免れた一機で、状態は最高」

「いい加減にして下さいっ！」坂井は絶叫した。「もう沢山です。．．！このボンコツにどんな意味が有るか知りませんが私は迷惑です！どっかよそでやって下さい！」

扶桑がニヤリとなる。平素見せたことがないような表情だ。

「なあるほどね。これじゃ殴られる訳だ」彼女はむしろ心地良さそうな風で、腕組みする。「坂井、あなた雪風見たわね」

「何の話、一体」はるなはギツネにつままれたような顔になる。「雪風って何の事よ」

「黙ってたのは悪いと思うけどね」扶桑は二式大艇の高い主翼を見上げ、目を逸らした。「提督も、似たようなの持ってるのよ。私らよりずっと大きな権限と、責任付きでね。それが駆逐艦雪風」

「あんのクソ姉貴．．．」

はるなは怒りと共に拳を握り締めたが、扶桑はたしなめた。

「お互い、秘密厳守が要だからね。私も偶然だよ、雪風の事知ったの。それに」それから坂井の方を見て言った。「提督も辛いだろうね。今まであの艦は、戦時中ですら死者ゼロだったのに、平和な自分の代に、とうとう死人が出たんだ」

そんな事はどうだっていい、自分には関係ない。そう思う一方で榛名に申し分けなような気も起こってきて、彼女は唇を噛み絞めるぐらいがせいぜいだった。

「．．．帰ろうか」

はるなが言った。姉妹喧嘩の可能性

をはらみつつ。

横浜駅で帰りの東海道線を待つ間、坂井ははるなに言った。

「さっきは済みません、取り乱してて．．．」それから一息置いて、続けた。

「帰ったら提督先輩に謝ります」

「．．．状況がよく飲み込めないんだけど、ま、そう思うんならそうすればいいよ。二式の方は嫌だったら忘れた方がいいね。あれは夢に違いない、ってさ」

「弁当でも買ってこようか」

扶桑が言い残して売店に歩き出す。

「シューマイ弁当！」

はるなが背に向かって言うが、聞こえていない風だ。すぐ剣持が後を追った。

「電車、来ませんね」

「そりゃ」榛名が天を仰ぐ。「東京だって、ゲタ電以外は待たせるよ」

少しして、剣持が弁当を下げて帰ってきた。

「扶桑先輩、本も買うって」

「お疲れ様」

アナウンスが、電車の接近を告げる。同時に警告のメロディが鳴り始めた。

「私、この音楽嫌いだね」

はるなが言ったが、坂井は余り興味もないので、曖昧に返事をしてお茶を濁す。

「扶桑先輩来ませんね」

「乗るよ、放つといっても」

はるなはあくまで無頓着だった。

．．．が。

ずっと手前の方で客達が騒然となり、急ブレーキの金属音と共に悲鳴が上がった。

「！」

はるなが瞬間、そっちの方を向く。黒山の向こうで電車の天井の方だけが止まって見える。彼女は舌打ちした。

「誰か物落としたんだよ、ありゃ」



物どころの騒ぎではなかった。すぐにアナウンスが入る。

「ただいま東海道線下りホームで人身事故が発生しました。戸塚・大船方面お急ぎの方は横須賀線、京浜東北線へ。．．」

黒山は一斉に三つしかない階段へ押し寄せる。

「うげ」はるながうめく。「こりゃ混むよ、早く行こう」

「扶桑先輩は」

「当然拾う」

売店の方へ行こうとしたが、近くへ行けば行くほど混雑はひどくなり、とてもではないが人が探せる状況ではない。

「こりゃ無理だ。しゃアない、後で謝ろう」状況を飲み込むのが早いのは、やはり飛行機乗りの習性か。「向こうも判ってるだろうし、ミイラ取りはごめんだから」

ごった返す地下連絡通路を、何度もはぐれそうになりながら、一行はようやく京浜東北線のホームへ出た。線路を挟んだ向こうでは中途半端な具合で東海道線の列車が止まっている。やがて列車は一端前へ進んで、降りる客を降ろすだけ降ろし、急いで発車していった。どうやら開通したらしい。

「戻りましょうか？」

剣持がはるなに聞くが、彼女は首を振った。

「いや、止めよ。面倒だよ、これだけ混むと」

だがすぐに彼女は凍り付いて、向こうのホームの一転を凝視した。

「和子だ！」

つられて二人もそっちを見る。確かに扶桑和子が、駅員に付き添われてホームのベンチに座り込んでいる。

混んでいようが何だろうが、一行は東海道線下りホームへ飛んで帰った。

扶桑は見たところ無傷だった。彼女

が言うには、とっさに線路の間に伏せたので、無事で済んだのだという。すぐに救急車がやって来て、とりあえず近くの病院にかつぎ込まれたが、結局ひじに軽いかすり傷を負っただけだった。

\* \* \* \* \*

「よくは覚えてないけど、どこかで見たような顔だった」

警察の事情聴取でも、扶桑はそう答えていた。それよりもすぐ真上を電車が通り抜けたショックの方が大きくて、誰が押したかなどということは覚えていた余裕が無かったのだ。落ちてすぐに線路の間に潜り込んだ瞬発力はさすがに飛行機乗りだが、それ以上を期待するのはプロではないのだから無茶であろう。

だが、帰りの電車の中で彼女は徐々に相手の輪郭を思い出し始めていた。

「何かこう．．金髪だったような気が．．」

結局は細かなディテールまで思い出すことはできず、「事件」は「事故」として処理される事になる。

\* \* \* \* \*

同じ日に、野木坂は南部、早坂を連れて、榛名の部屋へ行った。自分の「盗聴機探し」のためである。有明の逆探知機の新作が仕上がったからだ、有明自身は秋葉原へ部品を仕込むために出かけていて、参加しなかった。この作戦のためには、如月が長時間部屋を空けている事が必要だったが、おあつらえ向きに彼女はこの日、朝から山城と一緒に、東京へ出かけてしまった。神保町の古本屋をはしごするらしい。

情報が漏れるのを嫌って、この時まで榛名はじめ艦隊派の面々にはこの話には行っていなかった。部屋には南雲もいて、手早く概要を二人に説明した野

木坂は、まず秘密にしていた事を詫び、次いですぐに如月の部屋へ行こうと促した。

「行くんなら、気分出そうか」

「？」

「刑事物じゃ、こういう時は拳銃携帯するのが相場だよ」

言いながら彼女はクロゼットを開け、そのまま凍り付いた。

少し間が空いて、へたりこむ。

その場の誰もが、あ、と驚きを漏らした。

榛名は徹底した船乗りで、皆に合わせて「気分」で何となく拳銃をぶら下げてはいるが人前で使った事はなく、まして小銃の類は持っているのさえ見た事がある者を探すのは容易ではない。だから、そんなものが彼女のクロゼットにある筈は、普通ないのである。

「三八式ですね」

銃に触れないようにして、南部が確認する。古ぼけた細身の銃で、ボルトの取っ手はまっすぐに伸びている。榛名は魂が無くなってしまったかのように、呆けて座り込んだままだった。

「何故．．．」

南雲にベッドに横にされても、榛名はただぼうっとなったままだった。

「どうやら立て直しが必要みたいね？」

二人を見比べながら、南雲は言った。異議はなかった。

舎監を経て警察に連絡が行って、銃は押収された。指紋は見つからず、代わりに髪の毛が発見されたが、鑑定によって榛名とは関係ない事が証明された。ライフルマークが春日を撃った弾丸と一致した事までが、その日のうちに判った事である。

\* \* \* \* \*

時間は少々遡る。高1Aの榊裕は、

永野の証言から宇垣事件の「重要参考人」は如月だと断定した。春日事件との関連も濃厚だと見た彼は、「現場検証」を始めた。

とは言っても女子部の校舎には入れないから、ほぼ同じ構成の男子部校舎を代用してのものである。かなり制約は有るが、他に仕方がない。今までの話で葉莢が見つかった場所がどの辺かはあたりがついている。そこから、「如月の自室」までは、走れば5分かからない。別にそれほど入り組んだルートでもない。屋上から「宇垣が倒れていた辺り」を、手近のデッキブラシを銃に見立てて狙ってみる。だがこちらの方はかなり難しかった。ゴルゴ13なら楽勝だろうが、果たして高校生にできるのか？如月の銃の腕が解らない以上、これは何とも言いがたかった。そこに現れたのが正熊陽平である。

事件を追う一人だった彼は銃にそこそこ自信が有ったこともあって、実際に自前のライフルを持ち出して、狙撃できるかどうか確かめてみようとしていたのだった。榊が見ていると、彼は校庭に向かって手を振った。いつの間に現れたのか、女の子らしい影が、校庭のど真ん中、春日が倒れていた辺りに何か板を持って立っている。

しばらくスコープをのぞいていた正熊は、榊にもものぞくよう促した。

照準を合わせるのには大分手間取ったが、最後には何とか相手を捉えることができた。だが、遠すぎて、狙撃できるほど捉え続けられはしない。

女の子が持っていた板は結構大きくて、「Hit Me」と大書されていた。

笑えない冗談ではあった。

\* \* \* \* \*

井村は寮の中で実銃が出たという噂を聞いて、妙な胸騒ぎにせかされて榛名の部屋へ行ってみたのだが、その時

は既に警察が現場検証を済ませてしまった後で、中には誰も入れなかった。榛名達は別部屋へとりあえず引っ越していた。

艦隊の関係者とはいえ、極端な話榛名自体には余り用はない。一応見舞いに行かなければと思ってそちらへ行こうとすると、野木坂に出くわした。彼女は宇垣と話していて、こっちに気がついた宇垣が手招きした。

「どうしたんですか？」

「うん」宇垣は鼻で答えた。「こいつの話しじゃな、さっきの銃な、風紀が仕掛けたんじゃないかってな。で、これから如月の部屋にガサ入れするんだ。奴の部屋ならその程度のネタも転がってるはずだし」

「じゃ、如月さんが帰ってからの方が」

「それじゃ駄目なんよ」野木坂が今度は答える。「如月さんも灰色だから」「へ？」井村は度肝を抜かれた。「まさか！」

「声がでけえよ」

宇垣が辺りを見回す。

「こいつは昨日男子部のやつらとな、校舎の方でいろいろ調べてたらしいんだが、．．俺も如月が変だって気はしてるんだ。どうも今回の件、あちこちに如月が見えすぎる。普段ならこんなこたないんだ。しかも春日の場合、雪風から．．」

そこまで言って、宇垣はア、と凍り付いた。

「．．何です、雪風って」

野木坂と井村がほとんど同時に聞き返す。宇垣は舌打ちした。

「しまった．．」

30分後、二人は宇垣の部屋の中で、学内の「最高機密」について聞かされることになった。

「じゃ、春日さんは、雪風から帰るところを狙われた？」

野木坂が確かめる。

「でも、そんな事をして誰が得をするのかしら」

宇垣は即答した。

「答えは二つだ。一つは俺達の身内が、口封じのためにだ。雪風の秘密は、今の社会情勢じゃまだ鉄則だからな。戦後って物が、未だに整理されてない。そしてもう一つは、風紀委員だ」

「何で風紀委員が？」

井村が問う。宇垣は有るはずの無い煙草を懐に探り、ややあって気がついた。

「．．．理由は、今言ったやつだ。口封じのために誰かがやっと思えば、自ずとそれぞれが疑心暗鬼に陥る。艦隊は自然消滅。あとは各個撃破していけば、雪風を奴等が手に入れるのは、時間の問題になる。まして雪風の継承権は引き継がれたばかり、言ってみれば一番不安定な状態にあるしな」

そこまで来て、宇垣はあぐらを組み直した。

「ところでおめえら」目の奥の方から、二人をギロリと睨みつける。「今ここで話した雪風のことは、この部屋を出た瞬間に忘れろ。例え俺の前でも、榛名の前でもだ。喋ったら最後、命はないと思え」

「一家の人は、この事は？」野木坂が動じずに問う。

「知らん。山城ぐらいだ」

結局その日は、如月がそれからすぐに帰ってきてしまったので、「ガサ入れ」は中止になってしまった。

\* \* \* \* \*

扶桑に付き添って、はるな一行が帰ってきたのは夜遅くである。銃の件も有って、職員の対応は味気ないものだったが、疲労の方が勝ってしまって一行もあまり気にならなかった。

翌朝、食事が終わってから坂井が榛名の部屋に行くと、はるなが既に来て

いて、「冷戦」を繰り広げていた。南雲はいない。

「．．．すみません、また来ます」

「いいよ、おいで」

険悪さに負けて引き返そうとする坂井を、はるなの方が止めた。

「榛姉はね。坂井が5人目だと思ったらしいんだよ」

その一言で、坂井には「あの晩」が何故だか解った。それなら「バグ」も見当が付くというものだ。

「それならそうと．．．」

いらだたしさを押さえて坂井が抗弁しようとしたが、榛名は手を挙げて止めた。

「あの後から、いろんな事が有りすぎてね」

それから先の榛名の話は、弁解じみではいたが、話の筋は通ってはいた。

「継承」が終わったところから、如月が「特ダネ」を持って来なくなり始めたこと。「雪風継承」の直接関係者が実は5人どころではなく、まだ居たらしいこと。そして、風紀の活動が再び活発になりはじめていること。特に2番目は深刻だった。事によると風紀関係者が居るかも知れないからだ。

「数珠のお告げも有ったけど、私は私なりに継承者の条件について、考えてはいたんだ。結局、海軍の高級士官か、それに近い人物、てことに絞られてきてはいたのよ。坂井はその点、坂井三郎中尉が遠縁だったのをはるなから聞いてたし、違うって気は起きなかった。普通なら数珠が違うって教えてくれる」

しばしの空白。榛名は窓から相模灘を見渡した。

「でも、引き継ぎ元は現れなかった」

「連絡しなきゃ、来る訳無いのでは」

「そんな事はないよ。数珠が決めた日に、それがどういう形であれ、すべての鍵は引き継がれるんだから。悪いけど、やっぱりバグだったとしか思えない．．．」

坂井の突っ込みにも、榛名の抵抗は張りを失っていた。坂井はこの「老兵」を、若干同情を含んだ目で見下ろした。

\* \* \* \* \*

同じ頃、如月はまた山城と連れ立って東京へ出かけていた。確かに真鶴からでは、東京での「滞空時間」もそう長くは取れない。

それ、とばかりに井村に野木坂、宇垣は如月の部屋に押し掛けたが、鍵がかかっていて開けられない。

「畜生、抜かりねえな」

宇垣は舌打ちした。もっともこの辺までは、普通に考えればわかりそうなことでもある。

「永野呼ぶか。あいつなら前科も有る」

話が拡大するのを避けたい野木坂は止めたが、宇垣は聞かずに、さっさと探しに出てしまった。結論からいけば永野を呼んだのはとりあえず正解で、10分と待たせずに「私設」の警報装置も含めて全ての鍵を外してしまい、易々と中に入ることができた。

如月の部屋の中は、背中合わせになっているルームメイトの区画とは完全に対照的に、散らかされていた。嵐が如月のスペースだけを集中的に襲ったとしか思えないほど、メモ用紙と付箋が乱雑に散らかされていたのである。

「ひどい」何事もきっちりしていないと気が済まない性質の井村が呆れる。

「これでよく秘密が守れるわ」

「違うわね」永野がすぐに打ち消した。

「誰が見ても散らかっているようで、実は自分だけは何がどこに有るかわかっている。ゴミにしか見えなくても、それぞれは個人データの山．．．最高の秘密保持よ」

「ノーガードが諸刃の剣だったのは解ってないみたいだがな」

宇垣は意地悪く、茶々を入れた。

「メモは動かさないように。すぐにバ

れるわ」

永野は念を押した。

野木坂はそうこうしている間にも、引出の中やクローゼットを開けたりしていた。盗聴機を探していたのである。井村が手伝う。

だが、目的のものは出てこない。徒に時間は過ぎていく。

「あのな、その手のものがそんな素直な場所に有る訳はねえだろ」

宇垣は言いながらルームメイトの方の机に上がり、天井版の点検口を押し上げた。背伸びしてのぞき込む。そして、呟いた。

「ペヤング見つけ」

「触らない方がいいですよ、多分何か仕掛けが有るはずですよ」

永野が言った。

皆がかわるがわるのぞき込むと、そこには確かに、配電盤に偽装して幾つかの盗聴機が設置されていた。見えるうちの幾つかは、録音テープが回っている。

「どこを狙ってるのかなあ」

野木坂がのぞきながら呟くが、答えは出るはずもなかった。

「とりあえず今回は、場所が解っただけでよしとしようぜ。出直した」

宇垣が言った。

\* \* \* \* \*

翌朝目覚めた井村の枕許に、奇妙なメモ用紙が置かれていた。メモ用紙にはタイプライターでこう書かれていた。

### Curiosity killed the CAT.

(好奇心は猫を殺す)

中2の悲しさで辞書を使わなければ意味が取れなかったが、それ程経ずに、昨日如月の部屋へ行った者たち全員にまったく同じ物が届いていたことはわかった。だが肝心の如月は、既に実家へ帰った後だった。

To be continued.

時間切れ・校内の噂

・道路の反対側の山に、部活棟が新設されるらしい。

・栗田榛名は海上保安大学校の入校手続を取らなかつたらしい。

生徒名簿（P C 抜のみ）

男子部

高1 A 榊裕

高1 H 桐野薫

高2 H 菅原絵馬

女子部

中1 A 剣持光羽 野木坂若葉

中2 A 井村真知子 早坂理絵

高1 A 梅田香奈 南部沙紀

高2 A 坂井法子

※平成8年8月15日の時点でキャラシートが届いていない者については継続の可能性無しと推定し、学籍を抹消した。ただし行動の方向性が有効と判断される者については、NPCに移籍した。

## 校長から

随分お待ちせしました。ようやくここまで書き上げた段階で、息切れです。ただ、この調子でこれ以上やっても間延びするばかりでしょう。

遅れの件は済みませんでした。さすがにこんなに遅れることはあるまいと油断していたら、あれよあれよという間にもう秋です。今まで他人の本に対して、遅れる度に手厳しく攻撃してきたのに、灯台下暗しとはこの事です。以後、気を付けます。

さて、次回は年を越して一月です。オーラスまで9ターン．．．．

占いでボン！

4コマを描いて下さっている「本居の先輩」氏が、真鶴のPCでIREMの「ラブ・フォーチュン」をやって来て下さいました。結構当たるとこ多いんだ、これが。(・\_・;) ここには全文と「先輩」氏のコメントを掲げます。今後のプレイの参考に．．．なるかなあ。(五十音順)

なお、「暗証文字」というのは、同機用のパスワードのようなものです。

☆朝比奈美雪

1. 天格24
2. 人格17
3. 地格20
4. 外格27
5. 総格44

(人格から見た運命)

あなた的人格の17は強いのですが、柔軟性のない強さといってもいいでし

よう。あなたはグングン成功に向けて突っ走る強さを持っていますが、それは往々にしてポッキリと折れてしまいがちです。人と協力し、一步下がる事ができて初めてうまくいくタイプ。

(あなたの性格)

人の目とか、規則にとられるのが大嫌いで、自分をしめつけてくる事に対してはムキになって反発するところがありますね。人と一緒に同じ事をするより、自分一人が光るために一人で努力をするタイプ。流行の先端を一番に走るなど、独走大好き人間です。

(あなたに合う異性：性格)

あなたには、優しくて、思いやりがあって、あなたをとことん甘やかしてくれるタイプの異性が、一番合います。傷つきやすい心を持っていて、あなた

のモロさを共感できる人、そして、あなたのそばにいつもそっといてくれる、そんな人がおススメ。自主性が強くて人にも厳しい人はダメ。

(あなたに合う異性：容姿)

あなたには、人なつこい笑顔が印象的な、丸顔の人が似合います。体形的には、太からず細からずといったところがベスト。特別に押さえなければいけないポイントはあまりない人ですが、歯ならびだけはピッシリきれいな人を選ぶよう心がけましょう。

(暗証文字)

えゆいれ6ら0れなみ3

◎コメント◎

ここに書いてある人は、朝比奈さんと言うより春日さんの様な気がします。彼女の霊が憑いたのでしょうか(笑)。

それはそうと、残念ながら現在のところ特に『優しく甘やかしてくれる』ような男性PC、NPCは見当たりません。女性はどうか知りませんが。

ただ容姿がまるでアーティ(注：♀)なのが、ちょっと気になりますけど。

☆井村真知子

1. 11
2. 17
3. 21
4. 15
5. 32

(人格から見た運命)

あなたの人格の17は強いのですが、柔軟性のない強さといってもいいでしょう。あなたはグングン成功に向けて突っ走る強さを持っていますが、それは往々にしてポッキリと折れてしまいがちです。人と協力し、一歩下がる事ができて初めてうまくいくタイプ。

(あなたの性格)

人の目とか、規則にとられるのが大嫌いで、自分をしめつけてくる事に

対してはムキになって反発するところがありますね。人と一緒に同じ事をするより、自分一人が光るために一人で努力をするタイプ。流行の先端を一番に走るなど、独走大好き人間です。

(あなたに合う異性：性格)

あなたは華やかで、個性の強い異性にひかれますが、本当にあなたに合うのは、落ち着きがあって、しっとりあなたを包みこんでくれる、年上タイプの異性です。あなたがウップンをバンバンぶつけても、フワッと、聞き流して、気持ちを落ち着けてくれる、そんな人が最高。

(あなたに合う異性：容姿)

ちょっぴり小柄で、ひとつところにデンと落ち着くことなく、サッサッと動きまわる、軽快な雰囲気、あなたのパートナーには欲しいですね。白やカラフルな原色がバチッと似合って、真夏の太陽のしたが一番ピッタリというような、そんな外見の人が最高。

(暗証文字)

うく6めてへっやおねけ

◎コメント◎

いきなり姓名判断の限界が見えますね。画数が朝比奈さんと同じ17画だから、内容も同じになってます。井村さんの場合も、少し内容が合わないみたいですよ。

異性についてですが「小柄な行動派」という事で、桐野君になりますか。宮崎出身だから、きっと太陽も似合うことでしょう。性格も問題ないです・・・多分(笑)。

☆桐野薫

1. 21
2. 31
3. 21
4. 11
5. 41

(人格から見た運命)

あなたの人格の31は着実に実を結ぶ強い画数です。あなたはコツコツと自分の道を貫いて、人を支え大きな事をなしとげる運命を持っています。人に頼られて、リーダーとして何かをする立場に立つことも多く、会社をおこすなどの大事業をする人も...

(あなたの性格)

あなたを見ていると、何だかそれだけで元気が出てくる...そういう人がいるほどあなたは目立ってパワフルな陽気人間です。負けず嫌いな行動派だから、何にでも興味を持ってバリバリやるし、競争に強いせいもあって、何をやらせてもトップに立つ事が多いです。

(あなたに合う異性：性格)

あなたは華やかで、個性の強い異性にひかれますが、本当にあなたに合うのは、落ち着きがあって、しっとりあなたを包みこんでくれる、年上タイプの異性です。あなたがウッパンをバンバンぶつけても、フワッと、聞き流して、気持ちを落ち着けてくれる、そんな人が最高。

(あなたに合う異性：容姿)

ちよっぴり小柄で、ひとつところにデンと落ち着くことなく、サッサッと動きまわる、軽快な雰囲気、あなたのパートナーには欲しいですね。白やカラフルな原色がバチッと似合っていて、真夏の太陽のしたが一番ピッタリというような、そんな外見の人が最高。

(暗証文字)

したや\* おちゐ

◎コメント◎

「好奇心旺盛な行動派」という判定が、見事に当たっています。ただ、リーダーになるには、もう少しアクショ

ン掛けて頂きますと(笑)。

異性については、限界その2、という気がします、野木坂さんの容姿にも合ってるんですね。彼女、鹿児島出身で小柄ですから(いつも白衣着てるし)。

ただ、性格的にはちょっと合わないようですが。

☆栗田榛名

1. 15    2. 19  
3. 20    4. 16  
5. 35

(人格から見た運命)

あなたの人格の19は尻すぼみの未完成運を示す画数です。あなたは生まれながらに才能が豊かで、早くから多くの人の期待を受けるのですが、残念ながらやがて来る障害に勝てず、挫折を味わう事になるでしょう。健康がそのネックになる例が多いタイプです。

(あなたの性格)

粘りがなくて、おいしいところだけをサッとつまんでそれでおしまい、という要領のいいあなた。春に漂うチョウのように、ひらひらといろいろなところへ行くけれど、結局真実をつかままでいかずにハンパなままで終わってしまう...そんな傾向が強いようです。

(暗証文字)

うちむゐ4ペ°な

◎コメント◎

ほとんど冗談でやったのですが、はっきり言って不吉な結果になりました。勅使河原事件や宇垣・春日銃撃事件、『雪風』の一件が未解決に終わりそうな雰囲気です。

というわけでみなさん、彼女に必要な以上に頼るのは止めましょう(笑)。



☆剣持光羽

1. 25    2. 16  
3. 12    4. 21  
5. 37

(人格から見た運命)

あなたの人格の16はとても強い成功運を持った画数です。あなたの場合は、たとえピンチがあっても、そのピンチをチャンスに変えてしまうほどの強い運がバックアップしてくれているので、人が見放すようなダメージも軽く乗り越えて成功をするでしょう。

(あなたの性格)

のんびりしていて、人と接しているのが好きで、いつもあなたのまわりにはあなたを慕ってくる人たちでいっぱい。．．あなたはそんな人です。いばるわけでもなく、人を引っついていきたいとアピールすることもないのに、自然に人の輪の中心にいくタイプですね。

(あなたに合う異性：性格)

あなたに合うのは、くったくなく自由に自分の翼ではばたくことのできる勇気と行動力がある人です。いくら感じがいいなと思っても、こじんまりと常識の枠の中で動く事を、頭から肯定しているような人とは、しょせんうまくいきません。自由な物の考えの人を。．．

(あなたに合う異性：容姿)

あなたに合うのは、まずアゴのセンがきれいな人。太って二重アゴの人なんて、言うも恐ろしい問題外のタイプです。それから、口の小さな人。ガハハ。．．と大口をあけて笑うタイプもあなたには合わないの、その点しっかりチェックしましょう。

(暗証文字)

うつれねゆとせくみ

◎コメント◎

新キャラの剣持さんです。「自分で物事を決めず、『たよりになりそーな人』の後ろにくっついて歩く」と設定欄にあります。判定にもなんとなく出ているみたいです。

異性のタイプですが、『真鶴』の男性PCには太った人や高笑い(和田勉笑い)をする人はいないので、どなたでもお好みにあわせてお選びください(笑)。

☆坂井法子

1. 11    2. 13  
3. 12    4. 10  
5. 23

(人格から見た運命)

あなたの人格の13は底力を持った画数です。厳しい環境に身をおいて自分を磨けば磨くほど、無限に伸びる特質を持っていますから、自分を甘やかさなければ、きっと名声を手にする事ができるでしょう。家庭運にも恵まれ、いい家族に囲まれます。

(あなたの性格)

単純、目立ちたがりや、そして負けず嫌い、これがあなたの特徴です。人におだてられるとドンドン突っ走ってしまう方だから、調子に乗って先まで行きすぎて失敗する、なんてことも多いみたい。男性とでもしゃかりきになって競い合うパワフルギャルです。

(あなたに合う異性：性格)

あなたに合うのは、くったくなく自由に自分の翼ではばたくことのできる勇気と行動力がある人です。いくら感じがいいなと思っても、こじんまりと常識の枠の中で動く事を、頭から肯定しているような人とは、しょせんうまくいきません。自由な物の考えの人を。．．

(あなたに合う異性：容姿)

あなたのパートナーになるなら、まず手足が長いこと。首も長めで、全体にはヒョロっとした感じの人がいいですね。それから、手先、足先にあまり肉がついていなくて、きゃしゃな線の人であること。この二つが満たされていれば、容姿の方はまずOKです。

(暗証文字)

うぬ4く6をねねけ

◎コメント◎

恐いくらいに大当たりの判定が出ています。はっきり言って、坂井さんの性格そのままです。これからそのまま突っ走るのが吉の様ですね。

さて異性についてですが、ジャイアント馬場・・・というのは冗談として、ひよろっとしてきゃしゃな人、という桐野君になるのでしょうか。NPCの方には、とりあえず痩せ型はいないようです。

☆榊裕

1. 15 2. 27

3. 14 4. 02

5. 27

(人格から見た運命)

あなたの人格の27は危険な画数。犯罪、挫折、没落といった大きなマイナスの落とし穴に入りやすい運命を持っています。中には、いらぬミエをやりすぎて、自ら墓穴を掘ってしまう人も・・・。堅実さをモットーに地道に進まないと危険な人生です。

(あなたの性格)

個性的で、ユニークな発想を持ったあなたは、どこで何をしても、目立って光る人物です。「一風変わった」という形容詞をつけられる事が多く、平均を一番の基準にする日本人社会においては少し浮き気味。でも、気にせずひょうひょうとマイペースで生きる

人です。

(あなたに合う異性：性格)

あなたは、物静かで考え深い人に弱いのですが、実際そういうタイプと恋人としてつきあうと、思ったようにうまくはいきません。むしろただ明るくて、無邪気で・・・というタイプの人、話は合うしおもしろいで、心がのびのびオープンになるのを感じられるはずです。

(あなたに合う異性：容姿)

骨ばっていてギシギシしたタイプはあなたには向きません。いくらトレンドイといわれても、エアロビクスのインストラクターのような体形もパス。どちらかといえば骨は肉にやわらかくくるまれて見えないんだけどデブじゃないという、そんなソフトな体形の人が正解。

(暗証文字)

さぬ7\*れ

◎コメント◎

結構個性的な彼ですが、周囲にやたら個性的なPC、NPCが多いので「どこで何をしても目立って光る」とまでは言えないのが悲しいです。

異性については、容姿がそのままアーティです。ただ性格が「ただ明るくて無邪気」となると、ちょっと当たらないかも・・・

☆菅原絵馬

1. 24 2. 29 3. 29 4.

24 5. 53 (人格から見た運命)

あなたの人格の29は見せかけだけの力を示す画数。あなたは一見才能豊かで出世株に思われやすい人ですが、それは見せかけだけで中身がなく、いつまでたっても表面だけ・・・という人生を送りがちです。成功運、キャン

ブル運はなく、大成しない生涯です。

(あなたの性格)

何が起ころうとも、明るい未来を目指してしっかり前を向いていける人、それがあなたです。一見モロそうでいて、実は意志が強く、いくら失敗を重ねてもファイトを失うことはありません。柔軟でしたたかで、一度おかしな失敗は決して繰り返さない頭のいい人です。

(あなたに合う異性：性格)

あなたには決断力があって、力強く人をひっぱっていくタイプの異性にひかれますが、遠くで見ている分にはいいけれど、このタイプと実際つきあうと、決してうまくいきません。あなたに合うのは、人がよくて、どちらかといえば行動よりも頭脳派で、のんきな人。短気な人はダメ。

(あなたに合う異性：容姿)

あなたにはホリが深くて、わりとバタ臭い容姿の人が似合います。のっぺりぶっくりとした、おたふくタイプは絶対ダメ。背も高くゴツゴツした感じで、外人と並んでもヒゲをとらない迫力の人。そして、声はどちらかというとハスキーな感じ、これが最高。

(暗証文字)

しばてすさまりか

◎コメント◎

いきなり「大成しない」なんて断言されても困りますね(笑)。まあ、地道にしっかりと一步一步進んでいってください。そのうちいいこともあります(笑)。

異性に関してですが、初雁さんは「決断力があって、人を引っ張るタイプ」ですね・・・不吉な(笑)。ちなみに「のんきな頭脳派でお人好し」は有明かな。あと、朝比奈さんや剣持さんも、わりと呑気者です。

「背が高くゴツゴツしてる人」となると、宇垣か山城ぐらいですね。

☆南部沙紀

1. 2 4    2. 2 3
3. 1 7    4. 1 8
5. 4 1

(人格から見た運命)

あなたの人格の23はおそろしく強い画数です。この数を持った人は、一代で名誉も地位も財産も手に入れることができ、その名を多くの人に知られる運命にあります。ただし、あまりにも強い運氣なので、そのせいで穏やかな幸せとは縁遠くなるかも・・・

(あなたの性格)

うまくいったことしか考えないという超明朗派。行動力とスピードはあるけれど計画性が今一つなので、言っている事のワリには失敗が多いですね。でも、少々つまづいてもまるで気にしない明るいパワーに、思わず憎めないものを感じる、そんな人です。

(あなたに合う異性：性格)

あなたに合う異性の条件その1は、まず楽天的なこと。何かがあると、事をマイナスにマイナスに考えるようなタイプは、あなたには決して合いません。そして条件その2は、いったんやり始めたら投げない頑張る精神。この二つを満たした人なら、きっとイイ恋ができますよ。

(あなたに合う異性：容姿)

体形としてはやせ型。髪の色が濃くて、キリッとしたイメージの人がいいですね。あなたには、あまり背の違すぎる人は合いませんから、あなたに近い背の人を選びましょう。できれば姿勢のいい人をパートナーにした方が、あなたにはベターです。

(暗証文字)

うらおろるにつせむ

◎コメント◎

前項の菅原君と比べるとあまりに不公平な運勢(笑)。とりあえず、調子に乗りすぎて失敗しないように、としか言えません。

異性についてですが、容姿は榊君か桐野君ですね。性格的にはどちらとも言いにくいので、お好みの方を(笑)。

☆野木坂若葉

1. 22 2. 18

3. 26 4. 30

5. 48

(人格から見た運命)

あなたの人格の18はとても波乱に満ちたドラマチックな画数です。あなたの人生は、山あり谷あり。幾度も大きな変化と、激しい感情の波をくぐりぬける運命にあります。ただし、最後にはハッピーエンドで終わる吉運ですから、大胆に自信を持ってダッシュを。

(あなたの性格)

自己中心的なマイペース人間。自分が気がむかぬと人がいくらすすめても決して腰をあげないくせに、いったん取り掛かると、夢中になってのめりこむという極端なところが目につきます。何事もスローペースなので時間はかかりますが、ねばって勝つタイプです。

(あなたに合う異性：性格)

あなたはあれこれとかまってもらうのが好きな人ですが、こと恋人となると、何故かワガママでこちらが世話役にまわってしまうタイプの人を選んでしまいがちです。でもそれは正解、好奇心が強く、腰の重いあなたの世界を広げるリーダーとなってくれる、強いタイプが合っています。

(あなたに合う異性：容姿)

あなたには、全体にこづくりな感じの人より、一つ一つの部分が大きくて、パツと前面に出てくるようなタイプの人が似合います。目も鼻も口も大きくて、舞台に立ったらいいのでは... というような人なら、きっとあなたのいいパートナーになります。

(暗証文字)

え°お°ぬ4は3やし

◎コメント◎

この人の性格判定も、結構当たっているようです。特に「マイペース」で「のめりこむ」というのはアクションを見る限り当たっています。

異性に関してですが、男性PCの中には特に「ワガママ」な人はいないようです。

容姿も、全体的に大きい正熊君ががすってる以外は、これといった人がいないようですので、お好みで選んでください。

☆早坂理絵

1. 13 2. 19

3. 31 4. 25

5. 44

(人格から見た運命)

あなたの人格の19は尻すぼみの未完成運を示す画数です。あなたは生まれながらに才能が豊かで、早くから多くの人の期待を受けるのですが、残念ながらやがて来る障害に勝てず、挫折を味わう事になるでしょう。健康がそのネックになる例が多いタイプです。

(あなたの性格)

粘りがなくて、おいしいところだけをサツとつまんでそれでおしまい、という要領のいいあなた。春に漂うチョウのように、ひらひらといろいろなど

ころへ行くけれど、結局真実をつかむまでいかにハンパなままで終わってしまう。．．そんな傾向が強いようです。

(あなたに合う異性：性格)

あなたは華やかで、個性の強い異性にひかれますが、本当にあなたに合うのは、落ち着きがあって、しっとりとあなたを包みこんでくれる、年上タイプの異性です。あなたがウッパンをバンバンおつけても、フワッと、聞き流して、気持ちを落ち着けてくれる、そんな人が最高。

(あなたに合う異性：容姿)

あなたには、眉のキリッとした人がお似合い。髪の色も濃くて、意志の強そうな顔をしている人がいいですね。体形としては、中肉中背で、手足があまり大きくない人。大柄な人、太めな人とは、あまりうまくいかないの、早めにパスをした方が。．．

(暗証文字)

うむねめ4やゆさま

◎コメント◎

限界その3、という事で榛名と同じ性格になってしまいました。とりあえず、当たってないようですね。早坂さんは割と粘りのあるタイプでしょうか？

異性の性格に関しても限界が見えています。容姿では榊君が良さそうです。ただ単に中肉中背らしいのは、彼だけだと言うことに過ぎませんが。

とりあえず、正熊君はパスしといてください(笑)。

☆正熊曜平

1. 19    2. 32  
3. 23    4. 10

5. 42

(人格から見た運命)

あなたの人格の16はとても強い成功運を持った画数です。あなたの場合は、たとえピンチがあっても、そのピンチをチャンスに変えてしまうほどの強い運がバックアップしてくれているので、人に見放すようなダメージも軽く乗り越えて成功をしましょう。

(あなたの性格)

人が好きで、頼られると熱心に、頼まれた以上に世話を焼いてしまうマメな人。でもとてもテレ屋なので、大勢の人に会うとついぶっきらぼうになったり、人見知りをするクセがあります。物事に対しては、非常にマジメで、基礎を大事にするタイプです。

(あなたに合う異性：性格)

あなたは、自分を甘やかしてくれる優しい人を求めようとする傾向が有りますが、本当にあなたに合っているのは、むしろ厳しくあなたが頑張りを強要する「強い」タイプの人です。精神的にとってもタフで、少しくらいの失敗には全然メゲない、そんな人ならパートナーとして最高！

(あなたに合う異性：容姿)

体形としては、極端に目につくところがある人より、どこといって特徴のないタイプ。それで、ちょっぴりニヒルな笑いをするような、そんな人があなたには似合います。あなたは体臭のある人に嫌悪を抱くタチなので、クサイ人は避けること。

(暗証文字)

しましちほやいわに

◎コメント◎

運勢は剣持さんと同じです。性格については、現在のところ女の子2人に頼られているようですが、判定とはち

よっと合っていないみたいですね。。

異性に関してですが、設定欄に「面倒見のいい人が好き」とあるのが当たっています。「ニヒルに笑える」「強い人」となると、PCでは井村さんになるのでしょうか。「脳天気&楽天的で強い人」なら、2、3人いるのですが。

☆若宮奈波

1. 21 2. 21  
3. 20 4. 20  
5. 41

(人格から見た運命)

あなたの人格の21は深い力を持った画数です。この数を持った人は、時間はかかりますがしっかりと自分の足で前進をし、階段を登って上までいくことができる運命にあります。若年、中年期にそれぞれ試練がありますが、ファイトでクリアするでしょう。

(あなたの性格)

あなたは世話好きで、物事のいい方ばかりを見るタイプの人なので、何でも「まかせなさい」と引き受ける癖がありますね。決断力があって、多少の不協和音はバリバリと力づくで押し切る方だから、やっかいな事を引き受けてもけっこうバッチリこなす実力派です。

(あなたに合う異性：性格)

あなたは、つくしてくれる人に弱い人ですが、実際に合う合わないでいけば、むしろ自分の道を一人でサッサと進むような、クールな人の方が息が合います。ハキハキしていて、シャープで、誰とでも対等に討論し、知性で相手をアッサリ負かしてしまうような、“できる”タイプが最高。

(あなたに合う異性：容姿)

あなたのパートナーになるなら、まず手足が長いこと。首も長めで、全体にはヒョロっとした感じの人がいいで

すね。ソそれから、手先、足先にあまり肉がついてなくて、きゃしゃな線の人である事。この2つが満たされていけば、容姿の方はまずOKです。

(暗証文字)

うは3そてに。り8

◎コメント◎

さて、新キャラの若宮さんです。。。が、キャラ設定を見ていないので、コメントのしようがありません(笑)名前は「ナナミ」ですが、狙った訳ではないそうで(何をだ)。異性についてですが、また限界にかかってしまったようですね。という訳で、桐野君になるのでしょうか。一応、知性派ですし。(彼しかいないというのが悲しい)

「知性で相手を負かすタイプ」の女性ならNPCにいますのすが。。

◎おまけ。。。(^\_^)

☆二人の恋愛相性運 菅原絵馬 - 初雁つばめ(恋愛相性運) 二人の相性得点61点

これは残念ながら平均以下の点数です。二人はとても気はあうのですが、一緒にいると何となく他の方へ目がいつってしまうので、いざつきあってから不協和音に悩まされるケースがわりと多いペアです。この独自のペースに慣れてしまえば、それも味があるのですが、少し時間はかかりそう。

(ラブ・アドバイス)

もっと相手の話を聞いてあげましょう。もしかしたらあなたは、いつも自分のペースで自分の話ばかりして、相手の事はちっとも耳を傾けていないではありませんか？話をじっくり聞く姿勢を見せるだけできつと変化が。。。

◎コメント◎

うーん、また不吉な。どうもこの機械での占いでは、どうあってもお二人の前途は多難なようですね。とりあえ

ず、頑張ってください。

あと、本居の奴がこの占いを見て、変な気を起こさないように祈りましょう（笑）。

#### ◎事について

以上のデータは、それぞれPCが知っているものとしても良いこととし、「新・真鶴」（仮称）の予告

もう予想していた方も多いと思いますが、現在の「真鶴」は今回の雪風篇で完結するものとします。理由はいろいろありますが、今皆さんに明かせるのは、次の二つだけです。

- ① 設定自体の陳腐化
- ② シナリオの破綻

特に②は致命傷でした。「何でもできる」と私自身が思い込んでしまったために、逆に「何もできない」惨状に陥り、これが中途退場者を続発させて「場当たり」的なNPC・展開の乱発が続き、いよいよ矛盾をひどくする結果を招いていたのです。

とにかく「シナリオ上の来年度」、「9月1日の始業式」をもって現行の「真鶴学園風雲録」は一度幕を下ろします。そしてリメイク・バージョンとして、新シリーズを始めます。未だ全てが「仮」の段階なので、ここに今まで思い付いた設定を公開して、皆さんの意見も取り入れたいと思います。ただし、海軍物で実弾が飛ぶ事に変更はありません。

#### 仮称「新真鶴」設定案

時代：1940年代後半（昭和20年代）

舞台：横浜市南部沿岸（杉田、史実では横浜航空隊所在地）

「帝國海軍横浜兵学校」

・護衛艦隊士官専門の養成校（ex.海上保安大学校）

す。選択はあなたに任せますが、他のキャラのデータは使ってはいけません。

#### ◎追記

この占いは、平成6年6月に実施されました。

- ・女子の入学可（後方部隊／人手不足の為）
- ・三年制で卒業後すぐに艦隊勤務

#### 所属練習艦

軽巡洋艦 鹿島 （香取級）（旗艦）  
 駆逐艦 松 竹 梅 （松級）（艦隊士官実習用）  
 軽空母 隼鷹 （隼鷹級）（発着艦実習用）  
 標的任務艦は適宜潜水艦隊より派遣

#### 所属航空機

母艦科 （一号生徒中成績優秀なる者）  
 戦闘機 零式艦上戦闘機 五二型  
 哨戒機 九七式艦上攻撃機 二一型  
 基地科 （一・二号生徒）  
 戦闘機 零式艦上戦闘機 五二型  
 哨戒機 陸上哨戒機 東海  
 九七式飛行艇  
 初等科 （三号生徒）  
 九三式中等練習機 （赤とんぼ）  
 機上作業練習機 白菊  
 その他 （教材外）  
 輸送機 零式輸送機  
 連絡機 艦上攻撃機 彗星 三三型

時代背景：昭和15年の「御前会議」席上で海軍は日米開戦に明確に非を唱え、逆に陸軍に対して「支那事変で中国大陸は3ヶ月で陥落すると豪語しておきながら、既に何年も経っているのにまだケリがついていない」と批判し

た。これは天皇の意向に沿うものだったが、陸軍の恨みを買って、同年11月に東京でクーデターが三たび引き起こされる事になった。事前に情報を得ていた海軍は、事件直前に皇族を都外へ避難させ、事件発生直後、東京沖に連



合艦隊を突入させた。

中心部を制圧していた陸軍は当初投降を拒んだが、空と海からの攻撃で市ヶ谷の陸軍司令部が壊滅するや指揮中枢を失って混乱状態に陥り、次いで突入した海軍陸戦隊の各個撃破にあってその日のうちに事態は収拾された。この事件は天皇の怒りを買って、陸軍全体が縮小された上で海軍陸戦隊の一部として編入される事になった。陸軍に牛耳られていた政権も全て「五・一五」以前の状態に戻され、まず中国からの撤兵により対中国関係が少しずつではあったが改善の方向へ進み始めた。次いで満州、朝鮮半島の順に日本軍の撤退が進められた。これらは全て、日本にやや有利な友好条約が締結された上でであったが、幕末に日本が締結してきた、いわゆる「不平等条約」よりはるかにマシなものであり、反日運動家にもおおむね許容されていた。

これらの「新政府」の施策は連合国が日本を締め付ける口実を次々に奪っていったが、しかしそれ以上に連合国諸国の度肝を抜いたのは、日本が「三国同盟」を一方的に脱退した事である。そして逸早く日英同盟を復活し、インド洋へ連合艦隊を派遣、イギリス海軍と共同で「Uボート狩り」に着手した。

この時日本は、自らの対潜能力があ

まりにも貧弱である事を知った。日本は四方を海に囲まれ、資源は輸入に頼らざるを得ない。当然海上輸送の保安は重要な要素となるはずだったが、この「Uボート狩り」では逆に自分が撃沈されるまで敵の存在に気がつかないケースが続出し、一時期はこれが外交問題になりかけたのである。結局ソナーの技術をイギリスから提供されてこの問題を解決したが、この一点でも自らがいかに危険な橋を渡りかけていたか、身をもって知らされる事になったのだ。

欧州派遣艦隊長官だった小沢治三郎中将が昭和16年に艦政本部に提出した報告書には、対潜戦闘に特化した艦の大量建造と、これを扱う事ができる将兵を可及的速やかに養成し、対潜戦専門の艦隊を編成する必要が強く述べられていた。既に彼は空母の集中運用―――機動部隊。第一機動部隊が大西洋に派遣され、その有効性を立証した―――で実績を上げており、海軍内部で幾許かの抵抗はあったものの昭和18年には横浜市南部の杉田に、「横浜兵学校」が開設される事になった。対潜専門の士官学校というのは列強でも例が無く、また注目を集める事になったが、特に異例だったのは女子の艦隊勤務も前提に含めていたことで

ある。実はこれには深刻な事情があった。

陸軍の分も予算が使えるようになった海軍は一気に連合艦隊を拡張すべく「八八艦隊」の再生に着手した。乗員も陸軍の将兵を再訓練した上で回す予定でいたから心配はなかったが、その一方でこの「護衛艦隊」の分まで人員が必要となると、現行の徴兵ペースでは到底まかない切れなかったのである。陸上勤務の者を艦隊へ回せばある程度は何とかなるが、さりとて全員を回すわけにもいかない。そこで「補充」のために女子の乗艦を認める事になったのであった。この決定には海軍上層部の他にも高位にある者が絡んでいたと言われるが、定かではない。

今までの所業を考えればあまりいるとは思えないのですが、「これだったら真鶴の方がいいや」という方、いましたら、ためらわずに明言してください。私としても最早歳で、一からワールドを練り直すのは辛いですし、今のままが良ければそれに越した事はありません。

因みに「新・真鶴」のシナリオ#1は陸軍残党との対立劇になると思います。

それから、例によって「キーパーソン」として双子が出ます。もちろん女子。また「榛名／はるな」を使い回そうかとも思うのですが、何か思うところのある人は「こんな名前は？」というのも受け付けます。それと、これが「二号生徒」（二年生）がいいか、「少尉」がいいかについても、希望を取ります。（それによってシナリオ運びが少し変わる）ぜひご意見下さい。

欧州大戦に参加する一方で自国の守りに力を入れる日本であったが、昭和20年前後から日本近海で「怪事件」が散発する様になった。主に日本国籍の船舶が、救難信号も発さずに消息を絶つのである。ドイツはフランス南部を失っても主に東部戦線で善戦していたが、まさか太平洋までUボートが来られるわけもなく、連合艦隊も警戒はしていたが痕跡すらつかめないのであった。

ある者は米国の謀略説を唱え、ある者は陸軍残党のテロ説を唱えた。

だが、まだ、真実を知る者はいない。

アルティメットなち々。(笑)



それは言れないお約束

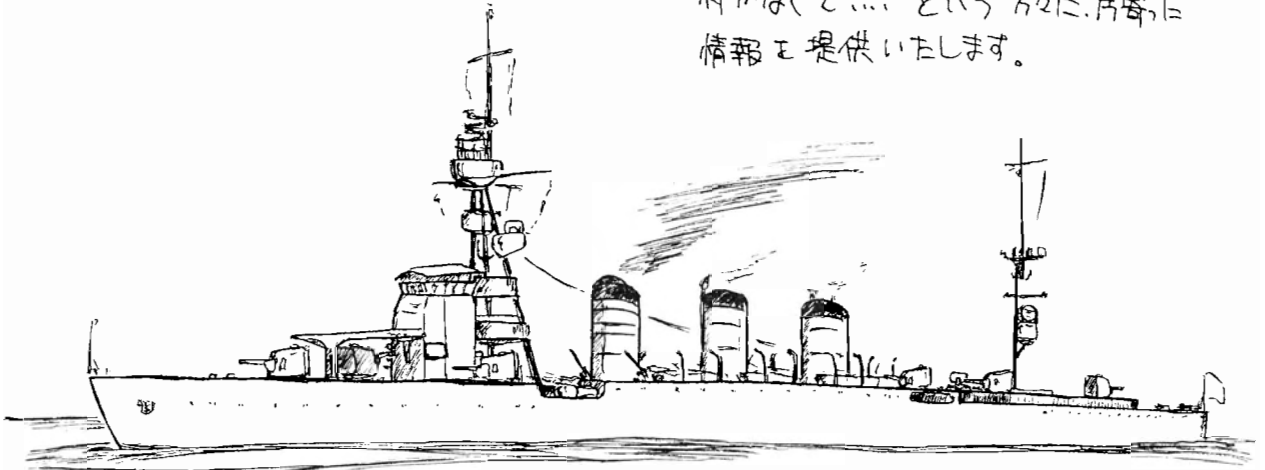


▲坂井だぞ



# 話の話

—と、唐突に始まるこのページは、PBMは好きだけど、それ以外の事は中々目付かなくて... という方々に、片寄、E情報を提供いたします。



で、今回は艦の話。2次大戦 日本の軍艦。——

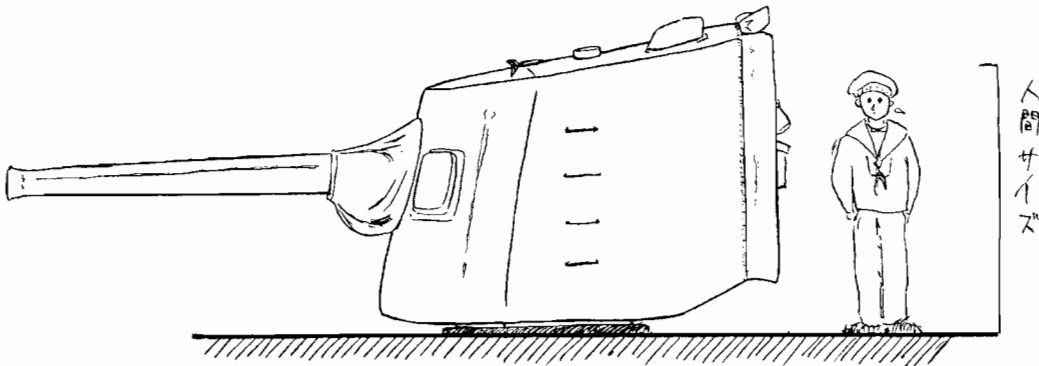
5500ト型の1艦です。(このAさんが片寄、2いる)

大正6年度計画により造られたものなので、多少古くさい

気もするのですが、三脚前檣(マスト)とスプーン・バウ。3本煙突なんかはその原因でしょう。

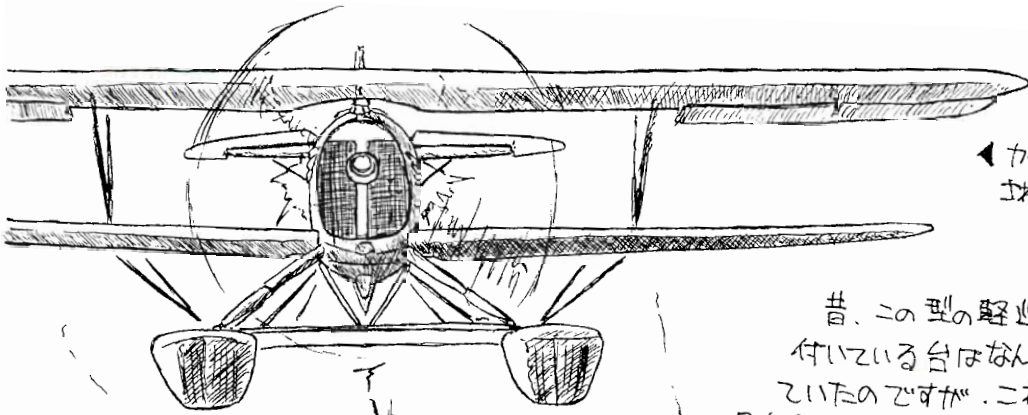
## 名取 (長良型)

武装は14センチ単装砲を7門。ここで特に目立つのが、艦橋まわりの砲の配置。前に2門、左右各1門とまばいさかしいこと。↙



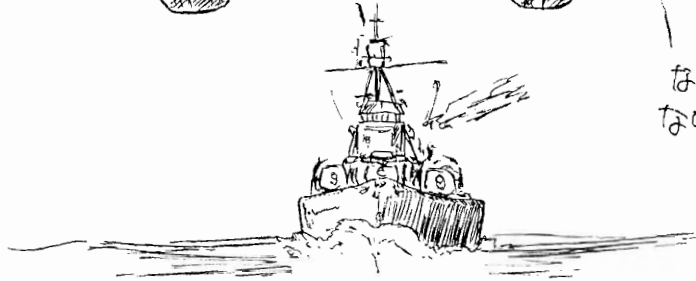
50口径3年式14センチ砲

4 左右の主砲などは片舷にしか向けなくなるので、後々の艦では中心に配置するおになります。上図がその砲ですが、このころの日本はまだ小型の単装砲塔を作る技術がなかったのです。単装な7ヶです。新造時の「古鷹」型なんかは同じ理由で、単装砲塔です。➡



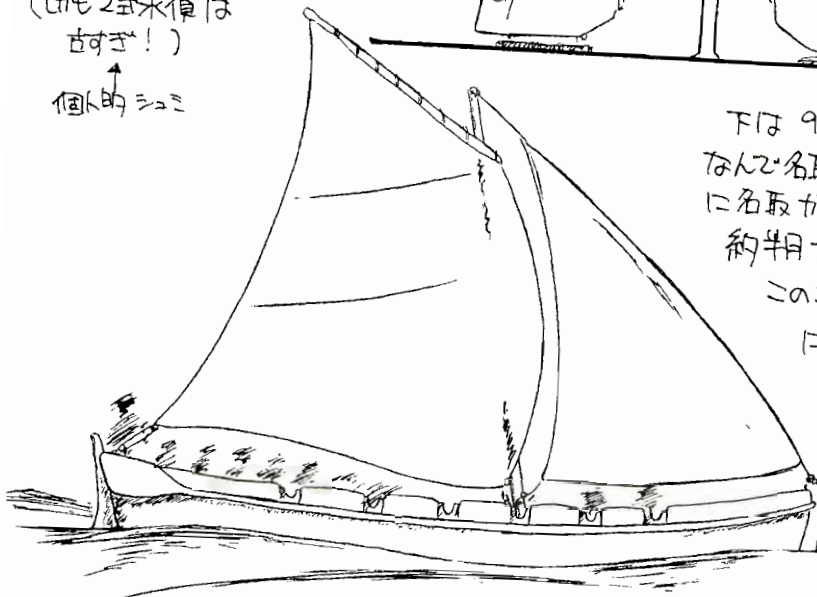
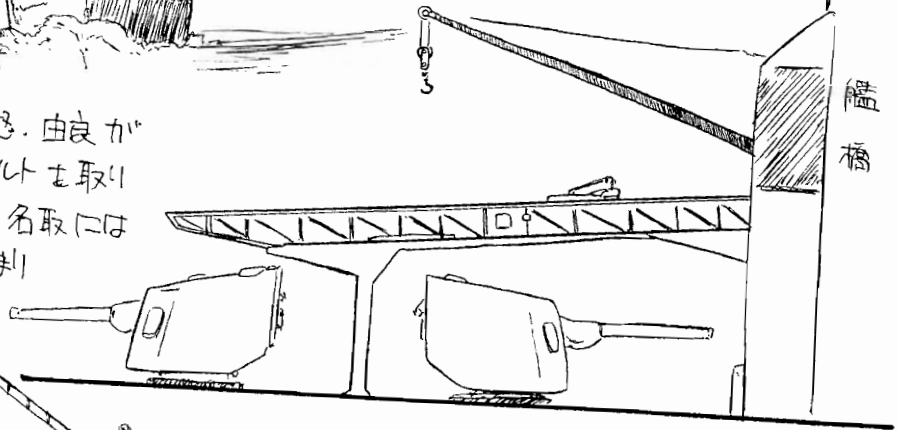
◀カタパルトより射出される2式木偵

昔、この型の軽巡の艦首砲上に付いている台はなんなんだろと思、ていたのですが、これは飛行機用の滑走台のなごりだったのでした。なぜ「なごり」なのかというと、乗用にならなかつたんでよね。



その後、同型艦の鬼怒。由良が「なごり」の上にカタパルトを取り付けた(左図)たのですが、名取には用いられてませんでした。つれづれ上のイラストは大ウソ!  
(しかも2式木偵は古すぎ!)

↑個人的ジョーク



下は9x-Hilkaの帆走。なんで名取でこれかという。昭和19年8月に名取が沈没された際、生存者194名は約半月かけて自力で帰還したんです。

このことは松永(作者「先任将校」(光人社)に詳しく書かれています。

ちなみに同著の「思い出のネーブル」は長いこと絶版だったのですが、先ごろ光人社の文庫で再版され、うれしいかぎり。ちと高いけどかなりのオマケです。

と、いつかして残念ながら紙面が足りなくなりました。

ごめんね、また次回!!

黒井



1994. 3. 11.  
[Signature]

10 (承前) : 何度も言うようだが、私は電気はともかく電子は専門外だ。露店のかごに山積みになった毛虫のような電子機器がそれぞれどんな代物で、どんな役割を果たすのか全く知らないし、見当もつかない。ヤーニャはそれをいちいち取り上げてみては返して、店のおやじと何事か専門用語を戦わせていた。そうやって半日ほど経つたろうか、いいかげん日が暮れた頃、ようやく彼女の「お買い物」は片が付いたようだった。荷物の方は凄まじい量のIC類、それに前時代的な丸穴が整列している基板の束。例の「情報」を解読するためにここまでしなければならぬのかと思うと気が遠くなったが、あえて何も言わずに置いた。どうせ訳の判らない言葉で反論されるに決まっている。

時計を思い切り逆回しにしたような秋葉原を後にして、国道へ出る。から空きの割りに中央線寄りの一車線にしか車がないのは、まだ路肩には厄介な散乱物が多いからだ。おかげで流れもあまり良くはない。ほとんどトラックや他の工事車両で、こちらも肩身が狭い。

「これからどうする？」

何度目かの信号停車――信号機はパアだから、当然手信号だ――の時に聞いてみた。あの手の代物が工作にそれなりの手間が要ることぐらい、私だって知っている。

「まずは本部へ」ヤーニャは言った。「それから、あなたの家へ」

「あ？」

意表を突かれて、発進のタイミングを外す。すぐさま後ろから警笛でどやされた。慌てて飛び出す。

「何だって？」

「他にどこで作るのよ」

それからしばらくの間、私は頼んでもいないのに彼女の身の上話を聞かされることになった。ロシア奥地の研究所で人工受精によって産み出された彼女は、生まれながらにして「端末機」としての能力を備えて、否、備えさせられていたのだ。

20世紀末期のいわゆる「ペレストロイカ」、そして続いた「民主化」が急激すぎた反動で、21世紀のほとんどをロシアは「閉鎖国

家」として通した。言い換えれば「鎖国政策」を取っていたのである。もっとも大陸国の事だから実態はザルに近かったのだが、とにかくその間の同国における技術停滞には目を覆うばかりだった。その歪みがバイオテクノロジーへ一気に押し寄せる形になった。ヤーニャのような「端末人種」はほんの一例にすぎない。

培養槽を用いていわゆる「優越人種」を人工的に生み出す技術は、ロシアでは比較的早期に開発されたといわれている。一般に人工受精と言えば生身の母体が不可欠だと思われているが、驚くなかれ、当時のロシアではその母体すら不要にしてしまったのである。この辺が国際医学倫理条約で「完全クローニング及びそれに準じる研究行為の禁止」を明文化してある所らしいのだが、彼女の話では現在もなおロシアでは極秘で研究が進められているらしい。他の国では時折非難声明を出したりしているが、何しろ研究続行の証拠が無いから、今一つ力が入らないのも道理だ。

さて、端末人種として20年弱を過ごしてきたヤーニャにも、「ロードテスト」の末期がやってきた。

人間、ある一線を越えてしまうと、一般にいわゆる「常識」が通用しなくなってくる。極貧のホームレスが何年となく着の身着のまま路上生活を続けたりしているのは普通にも解り易い例だろう。かく言う私だって、首が無くなっていたり、全身蜂の巣になっていたりする死体を見せられても、ほとんど動じなくなってしまう。要するに、生活環境によって「並み」のレベルはいとも簡単に変わってしまうのだ。だがヤーニャを研究していた連中の「レベル」は、私が今までに見聞した領域を遙かに越えていた。20年の歳月を経て「研究項目」をクリアしてしまった、つまり「興味が無くなった」彼女を、彼らは「処分」即ち直截な言い方をすれば殺してしまおうとしたのである。医学用モルモットの安楽殺と発想の原点は変わらない。この話を聞かされた時はさすがに吐き気さえ覚えた。運転していなかったら冗談抜きで戻していただろう。単に興味が尽きたからといって、簡単に人の生命を断とうとは、その神経を疑わ

ざるをえない。もっとも彼らにしてみればそれこそが「倫理」なのかもしれない。

自分の能力が本当に役に立ったのは実はその時が始めてなのだと、彼女は言った。「処分」の日までの時間潰しともいえるおぞなりの実験の合間に、彼女は自分自身の運命を知った。全く偶然に端末機に触れた瞬間、「情報が見えた」のだという。

彼女の能力とは、簡単な話、「接触」による制御である。接触した対象が電子的に制御される物であれば、あとは彼女の意のままに操る事ができる。だから例えばプッシュ式の電話機があったとすると、受話器を取りさえすれば（機械的なロックを解けば）後は何もせず先方と話ができる。言い換えればヤーニャは「ソフトウェア」なのだ。一度に複数を制御できないのが運の尽きだったのだが、ともかく生まれた当時の技術レベルでは最高の能力だったと付け加えておこう。

自分の運命を知った彼女の決断は、早かった。

内線電話で研究所の警備装置にアクセスした彼女は、まず所内の警備状況を把握した。それから最低限の荷物をまとめ、「処分」のぎりぎり前日、徒歩で脱走を敢行したのだ。研究所はウラルの辺りに在ったというから、苦労は並みではなかったろう。最終的には詐欺に近い方法で入手したノートパソコンでICPOのホストに侵入し、データを改竄して潜り込んでしまった。今なお「改竄」についてはばれていない。何でそんな事まで話すのかと尋ねたら、信用しているから、とだけ答えた。アホ！世間知らず（当然だが）にもほどが有る。私がばらしたら終わりじゃないか。もっとも日本人の弱いところで、判官びいきが頭をもたげはじめると、密告なんて考えは自ずと潰れてしまう。その辺まで計算しているとしたらいけすかない奴だ。こんな話を聞かされてもなおそんな懐疑心を抱かせる雰囲気、彼女にはあった。有り体に言えば陰が多すぎるのだ。

横浜の家に着いた頃には私の方の身の上話も終わっていたのだが、そっちの内容はまた今度

にしよう。用もないのに女性の身上を詮索するのは野暮もいいところだ。

11：パーツさえ揃ってしまえば、後はハンダとコテだけでコンピュータができてしまう事を、私はその晩初めて知らされた。ヤーニャは夜通し「工作」を続けていたようで、次の朝に私が起きた頃には基盤が大分形になってきていたのだ。CPUがどうかドーターボードがどうか、朝っぱらから訳のわからない事を口走っていたが、そんな事は私にとってはどうでもいい。彼女の事は放っておいて、署に出かけた。

出勤してして暫くの間は朝刊で目を遊ばせていたが、そのうち検屍結果が気になり始めた。地震の犠牲者ではなくて、私達を狙っておきながら、果たせずに自殺していった連中の物である。昨日のヤーニャの話では、神経系に端子を埋め込むことで「後天的に」ヤーニャのそれに近い能力が得られるようにする研究が現在進められているのだという。確かにこの方法ならば無闇なコストをかけずに、「優越人」を大量生産できる事になる。

それに生体内に電子機器を埋め込む事は、外科手術の手法の一つとしてほぼ確立されつつある。もしかしたら犯人にもこうした「端子」が無かったらどうか、そう考えたのだ。

午後になって科研に行ってみると、大当たり、ビンゴの様だった。一件目の二人組については何もなかったが、二件目の方は手の部分に用途不明の集積回路が発見されていたのだ。まずはこれをヤーニャに「面通し」してもらおう。それに、疑い始めればきりがないとよく言った物で、一件目にも何か有るはずだ、そんな気がしていた。むしろ確信と言ってもいいだろう。犯人の遺体は既に傷みが激しくて火葬されていたが（二度手間という気がしないでもない）、連中の乗っていた車の方は未だ保存されている。あるいはこっちの方に落ちこちていたりしないか。物が物だから、車の方の部品とごっちゃになっているかもしれない。そっちの方の再調査は鑑識課に任せて、私は「部品」を手にかへ戻った。



ビニール袋に入った「部品」を手を取った彼女は、目をつぶって何かを念じ始めたようだった。あるいはそれが回路にアクセスする時のスタイルなのかもしれない。それで何がどう解るのか皆目見当がつかないが、1分かそこらでまた普通に戻って、断言した。

「クロね」

「そんなもんで、解るのかねえ？」

「からかわないで、解ると思ったから持ってきたんでしょ？」

それからの彼女の説明では、部品の幾つかがロシア製特有の特徴を――解る者には解る、というレベルのものらしいが――備えていたらしい。

何となく出口は見えてきた。

(続)

## 困った時のコラム頼り

とりあえず原稿の復旧は、小物のこれから手を付けました。先にも申し上げたとおり、今回の作業は崇られているとしか思えないほど次から次へとアクシデントが続きました。このまま田中に任せておくのは無理だと判断して原稿を引き取るうとしたのが8月末のことで、次の会合(毎月曜日)の時にもらうはずだったので、この時は田中が原稿を家に置き忘れてペア。その次の会合では田中が学校の方で実習が入り、会合自体がペア。この日のうちに彼は郵便で発送したはずなのですが、4日ほど経過した現在もなお届きません。私は明日から後期の講義が始まります。

そういえば、今年の夏は最悪でした。無闇やたらに暑かったのはみんな一緒だったからいいとして、今まで受けてきた就職希望先がすべてペアになったことが確定したし...順不同で列挙すると、「新興出版社啓林館」「慶応大学」「東京都特別区」「横浜市」「駒澤大学」「法政大学」「CSK」「滝川化学」「技術評論社」「ビレッジセンター」「ポーステック」「アートディンク」「セイコーエプソン」「芸

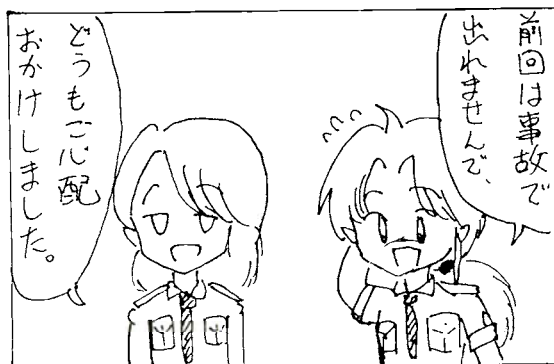
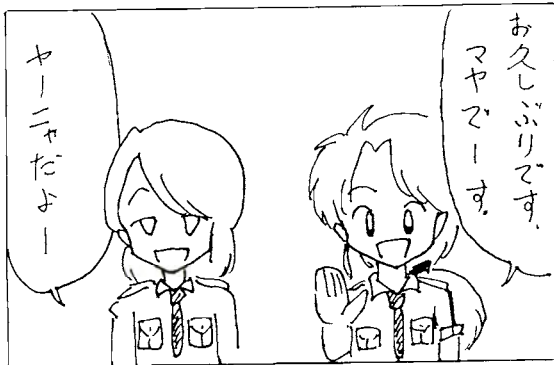
文社」以上14社。他に今、「神奈川県警察」「和洋女子大学」「小田原市」にトライ中があります。他の人と比べれば極端に少ない数値のはずですが、別にやたらに回ったから受かるわけでもなし、程々に抑えておいた方が自分や自然に優しい、のではないのでしょうか。うーんエコロジスト。第一財布を圧迫しない。このところの不景気で親の財布は当てにできないので、行動費はすべて自前です。そんなもんだから、夏休み中の稼ぎはすべて消し飛びましたし、今はノートPC用の蓄えにも浸食が始まっている状態です。こりゃ386NAR2でも危ないかもしれません。最新のリサーチでは当該機の底値は75,000円也ですが、9月15日の時点であと3万円ほど足りません。これで10月5日まで無補給ですから、キビシーのであります。もっとも、キビシーのは自分だけではなくて、世間様一般みなキビシーのは承知の上ですけどね。

世間様といえば、夏休み中は時代劇三昧でありました。「遠山の金さん」に始まり、「銀次捕物帖」「大岡越前」各再放送、そして「銭形平次」ですからね、無類とはいかないまでも時代劇好き好き人間の私としちゃ、たまらん期間でもありました。そんな事やってるからBLOWが遅れるんだとお叱りを受けそうですが、ピンポイントでかなりの材料を仕込みましたので、充電期間だったと思ってくださいまし。

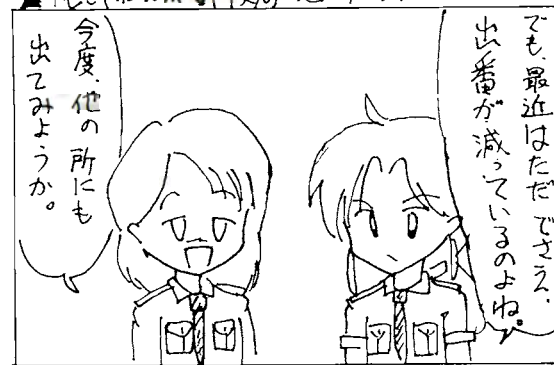
「あの日あの時あの場所で、見事に咲いたお目付桜夜桜を、まさかお前ら見忘れたとは、言わせねえぞ、おう！」なんてのは宇垣あたりには是非言わせておきたい台詞ですね...ただ、金さんみたく「身分を伏せる」のが不可能なので、そのまんま使うという訳にはいかんでしょうけど。

とりあえずこのページの穴埋めはここまでにしておきます。とりとめがなくなって穴埋めの方が長くなりかねませんから。順番は相前後するはずですが、平にご容赦を。

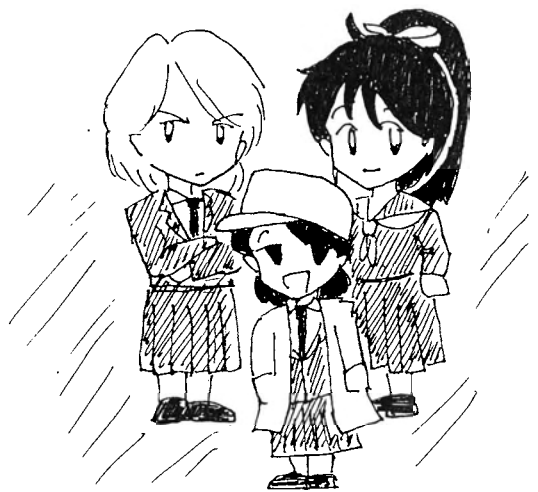
あ、年代が違うか。



▲俺じゃねえ、郵便局のせいだっ!



あずちさんにささぐ  
『一目見て桜花がわかる』  
どころではない



女子中学生たち。

## 回想の真鶴学園風雲録

本居小次郎

酒でも何でもやりながら、リラックスして読んでほしい。

「真鶴学園風雲録」の直接の原作、「榛名とはるな」を書き始めたのは中学3年の末だから、もう7年目に入る事になる。「榛名」の原作に該る「机上の空論」は確か中1の頃からだったから、それを起点にすればもう10年越しのプロジェクトという事になる。

「机上の空論」は完全に空軍オンリーの話だったが、この時点でDMシステムの考えは確定していた。まずは自分が飛行機を飛ばしたいのが考えの根底にあったからで、当然「大人」の考え方はわからないし(わかったらエイリアンである)、当時は未だ飛行機を含め、多くのメカの構造など、ほんのわずかしかなかった。同じ頃「D&D」(当時はこれしかシステムが存在しなかった)のマスターをやって、シナリオに空母「ニミッツ」を出した事があるが、その装甲厚を「4m」(床から天井)などと臆面もなく吹いたものだ。

それをごまかす為に「大人」の問題は主人公を小学生にする事でかわし、「メカ」の方はプラモデルを発展させる事でのいだ。これなら、「皮」は実在機でも、中身はいくらでも嘘がつける。死人を出してはいけないという大問題はかなり苦しんだが、ちょうどその頃やっていた「機甲戦記ドラグナー」(何人おぼえているやら)のごく初期に登場した「模擬弾」が解決してくれた。ずっと後になって「模擬弾」が実在するものだとなったが、当時はこの程度ですら「驚異の新技术」だったのである。

DMシステムもごく初期にはただのラジコン機だったが、すぐに「ドラえもん」のガリパートネルを思い出し、取り込んだ。取り込んだのはそれだけではない。話の筋も、「キャプテン翼」からのピンポイント借用が多かった。後に「榛名」でも出てくる「対抗戦」は基本的にトーナメント式で、「C翼」の全国大会に案を得たものである。キャラクターも借用というより盗用が多く、しばらくして自分で疑念を抱いた事が「榛名」へ進化を招く事になった。その頃にはメカについての情報も徐々に豊富になり始め、ある程度凝った設定も可能になってきていた。また、田中から借りた「エリア88」をも話に取り込もうとして消化不良を起こしたのも原因の一つである。「死」が一つの大きな要素となっている話を、「死」がタブーの話に取り込もうとしたのが無謀だった事は、今になって痛切に感じられるのだが、当時の未だ若い、多分にミーハー的傾向が強かった自分にとっては、「大した事ない」とさえ思えたものだった。

「机上の空論」は「C翼」の影響もあって飛行機オンリーだった。それゆえ話がワンパターンになり、自縄自縛に陥っていた。その反動が続く「榛名とはるな」に跳ね返る事になる。

「榛名」は話の方向をいかようにも変えられるように、ぐんと視野を広げた。今思えばこれが「真鶴」を中途半端にさせた遠因でもあるのだが、当時としてはうま

い考えに思えた。自分の趣味を全て一つに押し込めば、書きたい話が一発で書き上がるのではないか。そう考えた訳である。

「真鶴」を思い付く前、「机上」で行き詰まりを覚えていた頃、知人のツテで海上自衛隊の体験航海に行く事ができ、護衛艦（DE-217 あやせ）に乗った事から、主役が船乗りである事は早い時期に決まった。もともと船は好きだった。

細かく挙げていけば「榛名」のキャラクター達は、一人一人がそれぞれの目的、言い換えれば自分の趣味を体現した連中である。榛名は船舶一般の事。はるなは飛行機、特に戦闘機の事。南雲は鉄道趣味だし、宇垣は番長（ガキ大将）物である。女子ばかりなのは、自分が中高とも男子校で、「女子」への憧れが強かったからだろうと、今になって思う。現在でもその傾向は有る。少なくとも男子オンリーの話を書く気には、今もなれないでいる。この辺が、「真鶴で男子は目立てない」という原因になっているのかもしれない。

ここで重要なのは、キャラクター達が単能ではなかったという事だ。

たとえば当時、方向の一つとして考えていた「三国志」モードがそれである。

- |        |      |
|--------|------|
| 1.劉備玄德 | 栗田榛名 |
| 2.張飛翼徳 | 宇垣麻美 |
| 3.関羽雲長 | 山城英理 |

これに参謀役で「4.諸葛亮孔明 南雲陸奥」を入れれば、一部合わない点も有るが、「蜀」の完成である。

- |        |        |
|--------|--------|
| 1.曹操孟徳 | 勅使河原規子 |
| 2.馬謖幼常 | 三河     |

これで「呉」ができる。「魏」には小田原水産を充てるつもりだった。現実には、非公開ながら、風紀委員のクーデターが起こった際に榛名達がDM船で沖合いの「羽合島」（真鶴PBMではカット）へ避難し、宇垣がその足で小田原水産に助けを求め、学校に逆上陸をかけるという話がある。これなどは更に、マッカーサーのフィリピン「帰還」もかけられていたりする。

「水戸黄門」モードも有る。

- |        |      |
|--------|------|
| 1.水戸黄門 | 榛名   |
| 2.助さん  | 山城   |
| 3.角さん  | 宇垣   |
| 4.八兵衛  | 永野伊勢 |

大体こんな所であろう。ほかにも宇垣に「遠山の金さん」をやらせたり、はるなに「エリ8」をやらせる事も不可能ではなかった。

今でこそ如月は悪人だが、原作では最後まで榛名の味方、情報屋として存在するはずだった。これなど「風車の弥七」に原点がある。

本来はシナリオの許容性を高める為に始めた筈だったこの「計画」だったが、それ程時間を経ずに「キャラクター」の取り込みにウエイトがかけられるようになった。実際楽だったのである。だが、それが「机上」の轍を踏む結果になった。結局

消化不良を起こし、話にまとまりが無くなってしまったのだった。「真鶴学園風雲録」が始まった、少し後の事である。「真鶴」にそのしわ寄せが行った事は、今となっては否定できない。

本来なら、この時点で空廠を店じまいするべきだった。実際その頃、空廠の店じまいをかなり本気で考えた事もある。が、結局止めなかった。何故か。

これには、私の同人遍歴を振り返らねばなるまい。

全ては「D&D」から始まったと言って過言ではない。

私がこの世界に踏み込んだのは、やはり中2のころに遡る。同級だった田中が、ちょうどその頃世に出回り始めたDDを学校に持ち込んで、休み時間にシナリオをやっていた。自分がその中に入ったきっかけは、もはや覚えていない。ただ田中とはそれ以前から、ファミコン(ドラゴンクエストII)あたりの話や飛行機の話などで、付き合いがあった。今のレベルから思えば取るに足りないおまごどだったかも知れないし、DD自体も現在ではかなり低いランク付けがされている。が、当時はそれしかシステムが無い状態だったし、DDもまだ赤本か、せいぜい青本くらいしか無かった状態だった。だからDDはとてもシンプルで、「いい」システムでもあった。

その時のメンバーに、隣の組の境という奴がいた。彼が持っていた雑誌が「Game Graphix」で、時々見せてもらってもいた。既に私はメカ好きだったから、ファンタジーよりも飛行機ものの「Fictional Troopers」の方に興味が有った。ここで私の目を引いたのが、「ただのりな」である。既に「キリー・タカラ」で名声を博していた彼女のイラストは際立って巧かった。ここでまた「悪い癖」が頭をもたげた。敷き写しの(つまり机上の空論の設定への取り込み)為に、自前でGGを買い始めたのだ。月の小遣いが一万円(定期代・食費込み)だった当時、隔月刊とはいえ800円弱の出費は決して安くなかったが、それなりの価値は有った。「キリー・タカラ」だけではなく、掲載の記事内容もそれなりに解りやすかったし、有用だったからである。

中3の始め頃だったと思う。同級になった境が、「ゲームの本を出す」と言い始めた。

既にGGの読者欄でそういう本の存在は知っていた。随分遠いところの物のような気がしていたのだが、このアイデアに私は飛び付いた。一連のMD物とは別に、割とまともなSF「Meteoric Express」が形を成してきていて、発表先をうかがっていたからだ。当時世田谷学園に、文芸部はなかった。もし有ったとしても、行かなかっただろう。まだ鉄道趣味の方が面白かったから。不文律により、帰宅部以外の兼部は出来ない状態だった。従って身近なところに出来たこのサークルは、「渡りに船」でもあった訳である。私はかなり強引に「ME」を売り込み、そしてFTベースの空戦物も売り込んだ。まだ題は無かったが、第二次大戦物なのは固まって

いて、これが「A-Strike」につながることになる。結局の所、現代空戦物を企画した田中との比較で、よりディテールに凝った田中案の方が採用されて、自分の方は宙に浮く形になった。

ここで空廠の創業に至るわけである。

境が始めた「Super Slime」は始めから順調に滑り出し、同人活動が以外に楽なものだという印象を持った私は、これに倣って自分でも活動を開始した。ただし「原案」を自前でやる為には多少の補強が必要で、多少の時差を生む事にはなった。今して思えば、この「補強作業」が単なる蛇足で、その後「AS」シリーズの首をじわじわ絞めていく結果になったのかもしれない。

ASが出た当時は正に「空戦物」の全盛期で、「同業他者」はいくらでも居た。GGの読者欄にはそれこそ雨後のタケノコのように次から次へとサークルが登場していた。空廠もその中の一つとして登場した訳だ。その後の状況はまだ覚えている方も居るだろうが、「楽」とは似ても似つかぬ状況だった。初回の申し込み30名余りに対して当初の参加者数はわずかに4名、後にそれでも未だ良い方だった事を知るが、ある意味で愕然となった事は確かだ。だが、「SHIFT」に名を変えていた境の本に対抗する意味でも、また始めてしまった責任を取る為にも、いきなり止めるなどという真似は出来なかった。そして止め時を探るうちに会員数は徐々に増え、いつしか「止める」などという考えは頭の隅から消え去っていた。この辺は4、5回目ぐらいからやって来た井村・孝行の両絵師の存在も大きい。相前後して入ってきた二人は、空廠が存在する事で得られた「失い難い人材」だったのである。井村の画質は空廠の「堅い」側面にこれ以上ないほどマッチしているし、今まで私からの依頼が曖昧だったにも関わらず、そう的を外した作品が無い事からもそれは解る。孝行の方は「柔らかい」側面について抜群の整合性を発揮したし、私信で見ると、細かいところはさておき趣味嗜好の方向性は近い。ベクトルに例えればせいぜい2、3度差程度だろう。私が知る限り、ここまでスタッフの「見ている方向」が似ているという例は無い。それこそが今まで空廠が内部から分裂せずに持ちこたえてきた理由の一つだろうと思う。

この二人に象徴される「空廠系」の人脈は、今までの生活からでは生まれようもなかったし、今後代替が利くようなものでもない。ネットゲームの方でもいくらかのつながりは生まれているが、それは全く意味合いを異にするもので、やはり空廠と互換は利かないと見るのが自然だ。

内部の方から見れば、今まで続けてきた理由はこんなものだ。手短かに言えば、自分が甘えん坊だから、独占欲が強いから、という事にもなるかもしれない。だが外的な要因を加味すると、事はそれほど単純ではなくなる。

空廠を始めるのとほとんど同時に、「鈴木商店」というサークルとの接触が生まれた。当時私は市場の動向を見る為に、手当たり次第に「その筋」のサークルに手を出していたのだが、ここの場合はそうではなく、先方でまず空廠へ参加者として

やって来て、次いでいきなりそっちの本を送り付けてきたのである。B5両面コピー80ページ程度は有ったろうか。若葉マークの自分に与えたショックは絶大だった。体裁もさる事ながら、その内容がPBM5本というのは、今の目で見ても「凄い」。それが何の前触れもなく送られてきたのだから、よほどの太っ腹か、あるいは事務処理のミスとしか考えられない。そして実際その本は、「凄すぎた」のだった。

「鈴木商店」の本は、それこそビジュアルにかなり力をつぎ込んだ本で、またその画質が私好みでもあったので、引き寄せられるように参加してしまった(畏にはまったとも言える)のだが、5号と数えずに関係者が行方をくらましてしまったのである。今、そのうちの一人は某漫画家のアシスタントとして世間にまた顔を出し始めているが、誰であるかは、名誉毀損になるので明かせない。この事件が私に与えたショックは本が送り付けられた時以上に絶大だったし、怒りはそれを上回った。かなり粘って本代は返還させたが、それだけでは収まらなかった。何しても越えなければならない「目標」として、鈴木商店の存在が出来たのだ。その勢いがBlowersを生む事になる。今では鈴木商店に対する怨恨の類は風化してしまった。あるいはそれが今の空廠の低調にもつながっているのかも知れないが、自分にはわからない。

「解散」がタブー化した要因は、一つ「鈴木商店」に止まらない。GGの「FT」の同人誌で「Born in Battle」という本が刊行されたことがある。GG編集部のバックアップも受けた割と良い本で、この時編集に参加した関係で「ただのりな」とのつながりも(ごく薄いながら)できたのだが、後にこの時のスタッフがPBM本を企画した。内容はごく平凡だったが、ここも「FT」のカスタマイズは凄かった。おかげでかなり期待して参加したのだが、ここは一号だけで音信不通になった。「ぶりの照り焼き」という本もあった。ここはファンタジーPBMをかなり長続きさせた方だが、やはり一年程度で音信不通になった。後にご両親と電話で話す機会があったが、そのときの話では「よくある心変わり」だったらしい。「DANGER」という本もあった。ここは「ぶりの照り焼き」と仲が良く、内容も共通していた(DANGERの方が先だったらしい)が、こちらは主催者の多忙が元で中止になった。その後再会したが、私の油断が原因で半ば「自然蒸発」に近い状態に陥った。私に責任がある数少ない事例だが、この辺も私の意志決定には深い影響を与えている。優柔不断になりがちなのはこの辺りに根があるだろう。その他、いきなり音信不通になったサークルは枚挙にいとまがないし、忘れてしまったものも数多い。

そんなこんなで、とにかく自分の屍は自分で拾おうと云う意志だけは岩のように凝り固まったものになっていったわけである。

事ここに至り、空廠の解散などという問題は、自分の中でほとんどタブーのようなものになった。何か他の要因に迫られない限り、解散は鈴木商店に対する敗北を意味する。そして解散する場合は、出来るだけスマートに行わなければならない。少くとも、一つでも「中断」される連載記事が存在してはならない。全てが持久戦

の構えになった。ASはもともと現代戦までやるつもりだったが、ここまで引っ張るつもりも実はなかった。本来の予定通りであれば今年の春には完結していた筈だったのである。そのために「最終回」の原稿も用意してあったのだが、今となっては世間の状況が違いすぎ、使い物にならない。

しかし皮肉なもので、「持久戦」は全体のめりはりを失わせる事につながった。始めから参加していた人は三々五々いなくなっていき、途中から入ってきた人は沈滞した空気に嫌気がさしたのであろう、それ程経ずに居なくなるという形態が常態化した。それでも、止めるわけにはいかなかった。「続ける事」は境の「SHIFT」が大学受験のあおりで解散し、またGGがバブルの崩壊で事実上の廃刊に追い込まれた後は、自分にとっていっそうの重要味を帯びてきた。ここまできるともはや病的な気も自分でしてはいたが、空廠の活動自体が既に自分の生活の一部になっており、それ抜きではどうなるのか、見当もつかない恐ろしさも有った。

かくてマンネリ化は進行し、現在の危機に至る。

今後の方針として為すべき事は、やはり空廠のやる事、やらない事を明示する事だろう。少くとも、現行の「真鶴」のようにいいかげんな事では先行き長くない。私は先に「面舵270度」と表現した。「取り舵90度」と何が違うと、その後身内から何度も言われたが、私にとっては意味がある。面舵か取り舵か、そんな事は別にどっちだって構わないが、単に90度程度向きを変えた程度では結局元に戻ってしまう危険が感じられるのだ。私は怠惰な人間だ。思い切って大きく舵を切る気でないで、自分でやりかけたことすら無にしかねない。その意味での「270度」なのである。

そしてもう一つハッキリさせたいのは、私は決して思想的に偏ってはいないと云うことだ。こう云うことをやっていると、必ず私のことを右翼だと見なす人間が出てくる。そう云った手合いにはいくら説明しても無駄なので（えてして否定すればする程この手の人種は確信を深める）「俺は右翼だ」とあっさり言うてしまうことにしているが、実際はただの、懐古趣味が過ぎたいい加減なノンポリである。私が戦記物に携わる理由は二つ有る。一つはそれが20世紀の技術史の集大成だから。そしてもう一つは、読み易い話が作り易いからである。これが20世紀の社会史を真正面からとらえてみたら、たとえどんなにソフトな組み立てでも、8年も持つようなシリーズにはならない。あの硬直しきった「純文学」とやらの雑誌で1年ほど連載を保たせられるのが関の山だろう。そして作者は右翼か左翼か、その何れかのレッテルを貼られて作家生命を絶たれるのである。未だ日本で昭和史を題材にした作家が育たない理由はそこに違いないと、私は信じている。「昭和史」は日本にとって禁断の果実とされている。

しかし戦記物は、「お約束」の反則技術を持ち込むことで「イロモノ」と見下され、為によほど偏ったことを書かない限り思想からは自由である。物書きに限らな



い。当時のメカを探る物はそのまま「兵器おたく」に分類されて、やはり政治思想とは無縁と切り放されてしまう。当然ながらそれに伴う社会的な損失も大きいですが、「思想の自由」は確実に保証される。ノンポリがノンポリであるが故にもみくちやにされる恐れは薄い。

白状しよう、私にとって軍事史とは決してメインではない。保身のために被っている「危険な覆面」にすぎない。今でこそ空廠のために揃えた資料によって「一般人」より深い知識を得てはいる。しかしそれでもなお、軍事はメインではない。軍事の比重が大きくなったのは、空廠の活動の上でハッターを利かせるためだったと言っても過言ではない。

ここでこれからPBMなりミニコミ誌なりを始めようと考えておられる方に忠告しておく。よほどその分野に自信がない限り、そんな事はしないことだ。必ず自分を上回る知識を持つ人間が現れて、あなたを答えられようがない質問と、ついで抗議、非難と云った物でもみくちやにし、すべてを奪い取ってしまうはずである。私の場合もそうだったが、いじめられっ子の期間がちょっとばかり長かったおかげで保身のハッターの心得はあったし、多少の非難などで滅入ることなどなかっただけだ。そして今、ハッターのツケが莫大な利子と共に私の前に立ちはだかっている。

話を元に戻そう。私のメインはあくまで昭和の社会史、特に文化史だ。過去にこれだけ確実な資料が残されている時代はない。そして何より、自分が過ごしてきた時代である。それを一つ一つ丹念に掘り起こし、検証していくことは、同時に自分を見直すことである。「個人」は無敵だ。決して完全に把握することなどできない。本人にさえである。だからこそ「人」とつきあうのは楽しいのだが、同時に苦痛も伴う。だが世の中に、楽ばかりのことなど存在しないのもまた真である。これを何か新手の宗教と勘違いする向きもいるかも知れない。だが自分自身では、これは禅宗、特に私が中高6年間を過ごした世田谷学園の宗派でもある曹洞宗に沿った物だろうと思っている。もっとも私は出家したわけではないし、当然僧籍など持っていないから、正しいかどうかは分からない。だが少なくとも、禅は自分を見つめ直す事を手段の一つに持つ修行なのは確かだ。

最後にもう一度確認しておこう。私はまだ当分空技廠を解散するつもりはない。今なお私の周りを時折漂う「消えていった物たち」の亡霊たちが失せるか、自分が自分自身に敗北するか、その時までには空技廠の看板を掲げ続けることだろう。この老兵をあなた方がどう見るか、それは私の関知することではない。

いい加減話にとりとめが無くなってきた。私にはいささか過ぎた題材だったのかも知れない。いずれ落ち着いたときに、もう一度まとめてみることにしよう。

(文中敬称略)

# 空技廠會員心得

## 廠長さんとお約束

### 空技廠について

1. 名称 当会の正式な名称は「帝国海軍 横浜航空技術廠」であるが、長くてややこしいので単純に「空技廠」または「空廠」と呼称する。実在した「横須賀航空技術廠」と直接の関係はあまりない。
2. 活動 定期的に行われる会誌を中核として、広範囲に活動対象を定める。
3. 責任 空技廠で発生する事象については、空技廠の代表がすべて責任を持つ。ただし、空技廠代表が関知しえない範囲で行われるものについては、対象外とする。

### 会誌について

1. 名称 空技廠の会誌の名称は「Blowers」とする。ただし、将来変更される事が有り得る。
2. 参加者の地位 空技廠参加者は、等しく「Blowers」を受け取り、参加する権利を持つ。
3. スタッフ 空技廠のスタッフは、何らかの形で定期的な記事を維持する責任を負う。ただし日常生活が多忙な場合はこの限りではない。
4. 代金 「Blowers」は空技廠代表が個人の趣味範囲において発行するものであり、この本に対しての金品徴収はしない。
5. 発行期間 「Blowers」の発行期間は原則的に一ヶ月毎とする。詳細な発行予定日は各号の巻末に掲示する。これを一ヶ月以上経過して空技廠から何ら連絡が無い場合は郵便事故の可能性が高いため、代表まで連絡のこと。

### サポート体制

1. 分野 現在空技廠では、次の内容をサポートしうる対象として用意している。
  - 機械工学分野－鉄道 船舶 民間機 三輪以上の自動車 艦艇 軍用機 MS-DOSマシン
  - 地理・歴史分野－建築物一般 昭和文化史
  - 生科学分野－飼猫 食物一般
  - ゲーム分野－ドライブ 縦シューティング パーチャル・シューティング 現代戦略SG ギャンブル
  - 音楽－ナツメロ
  - スポーツ－柔剣道、東西格闘技一般、野球（大洋、阪神、ヤクルトに限る）

次の発行予定は....

24号追加版 近日中  
25号 11月1日発送予定

25号原稿メ切は、10月10日必着です。  
全ての郵便物は菊地まで。

菊地研一 誌

菊：夏休み中は市川の某女子大へDOS/V機いじりに行ってました。ディレトリ構成を見る内に「\$」マークがついたファイルがたくさんあるのに気が付き、一時ファイルの亡霊だと(98ではそう)思いこんで削除してしまったら、これがDOS/Vの心臓部、日本語表示用ファイルで、インストールからやり直す羽目になりました。下手なことはするもんじゃありません。

孝：先日のサンマリノGPにて、ローランド・ラッツェンバーガー、そしてアイルトン・セナが亡くなりました。片や新チームから参入の新人、片や偉大なる天才ドライバー。立場は違えど共にF-1界にとって大切な存在でした。

両名の御冥福をお祈りします。

(1994.5.2)

Crew

編集長：菊地研一郎 / 編集補佐：田中真人 / 筆者：正宗征士 岬当麻  
菊地研一郎 K. O. U. / 絵：井村和正 孝行始 ただのりな 幻  
謎の黒幕 本居の先輩(塚) (順不同)

Blowers 第24号

第5巻第3号(通巻26号)

Freeware

編集人・発行人：菊地研一郎

無断転載・再配布を禁ず

次号「狼が来るぞ」は11月1日発送予定。

真鶴学園風雲録の参加締め切りは10月10日です。

その他一切の原稿締切も10月10日です。復活を飾る一冊です、一つ気合いの入った奴を頼みます。

★ニヒにちほ、α切破ってか  
川のチビの川なで、選れはせ  
ながら各コミの話を... (117の  
話た)とも全てを書きつくせ  
ませんかとにたか可たたで、  
規模もレベルも熱気も私ぜん  
まじりたて可た(知、てははじ)  
ゴスロもスゴたたて可た、一歩出た  
ぶつた、て程多た、(林とのチー、たて良  
た、スゴ)キョミも見ました加、んは、たか、たか  
たて可た、スタイルも、夏コミも申し込み  
た、お互い受た、てると、い、て可た、え、田中との、  
私は一昨日で可た(2日目は又、一編か?死た)  
★相由岐とのトランスた、た、た、た、た、た、た、た、  
うら、ても何故、私のD.B本を、持、て、た、た、た、た、た、  
(本は次々に出て、た、た、た、た、た、た、た、た、た、た、  
1994.4.20 BY チビの川



キョミ  
て、  
知、た、た、